

(2) 地域の自然的状況に係る項目

ア 地形及び地質の状況

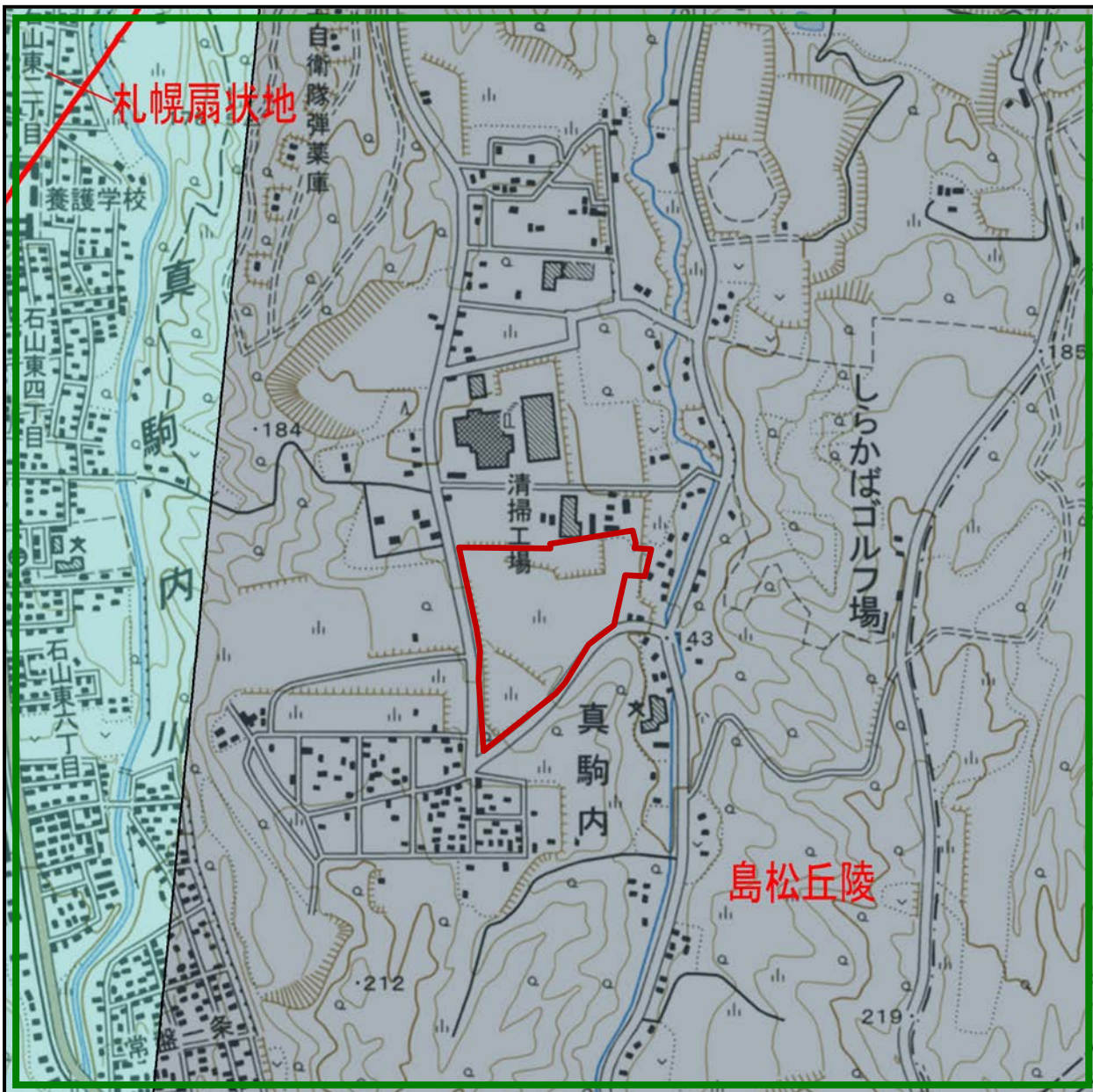
(ア) 地形の分布状況

事業実施想定区域周辺の地形の分布状況を、表 3-2-2-1 及び図 3-2-2-1 に示す⁴⁹⁾。
真駒内川から東側には、大起伏丘陵地である島松丘陵が広がっており、真駒内川の流域は扇状地性低地である。

表 3-2-2-1 事業実施想定区域の周辺における地形の分布状況⁴⁹⁾

大分類	中分類	小分類	地形区
丘陵地	大起伏丘陵地	半島北部丘陵	島松丘陵
低地	扇状地性低地	石狩湾岸低地	札幌扇状地

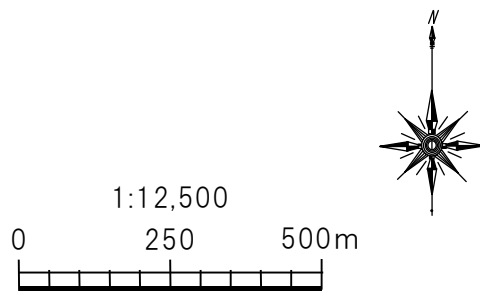
49) 国土庁土地局「土地分類図（地形分類図）北海道 I（石狩・後志・胆振支庁）」（昭和 50 年）



凡 例	
	事業実施想定区域
	影響想定地域（地形及び地質）
	区 界
	大起伏丘陵地
	扇状地性低地
	地形地域区界線

図 3-2-2-1 地形分類図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：国土庁土地局「土地分類図(地形分類図)北海道 I (石狩・後志・胆振支庁)」（昭和 50 年）

(イ) 地質

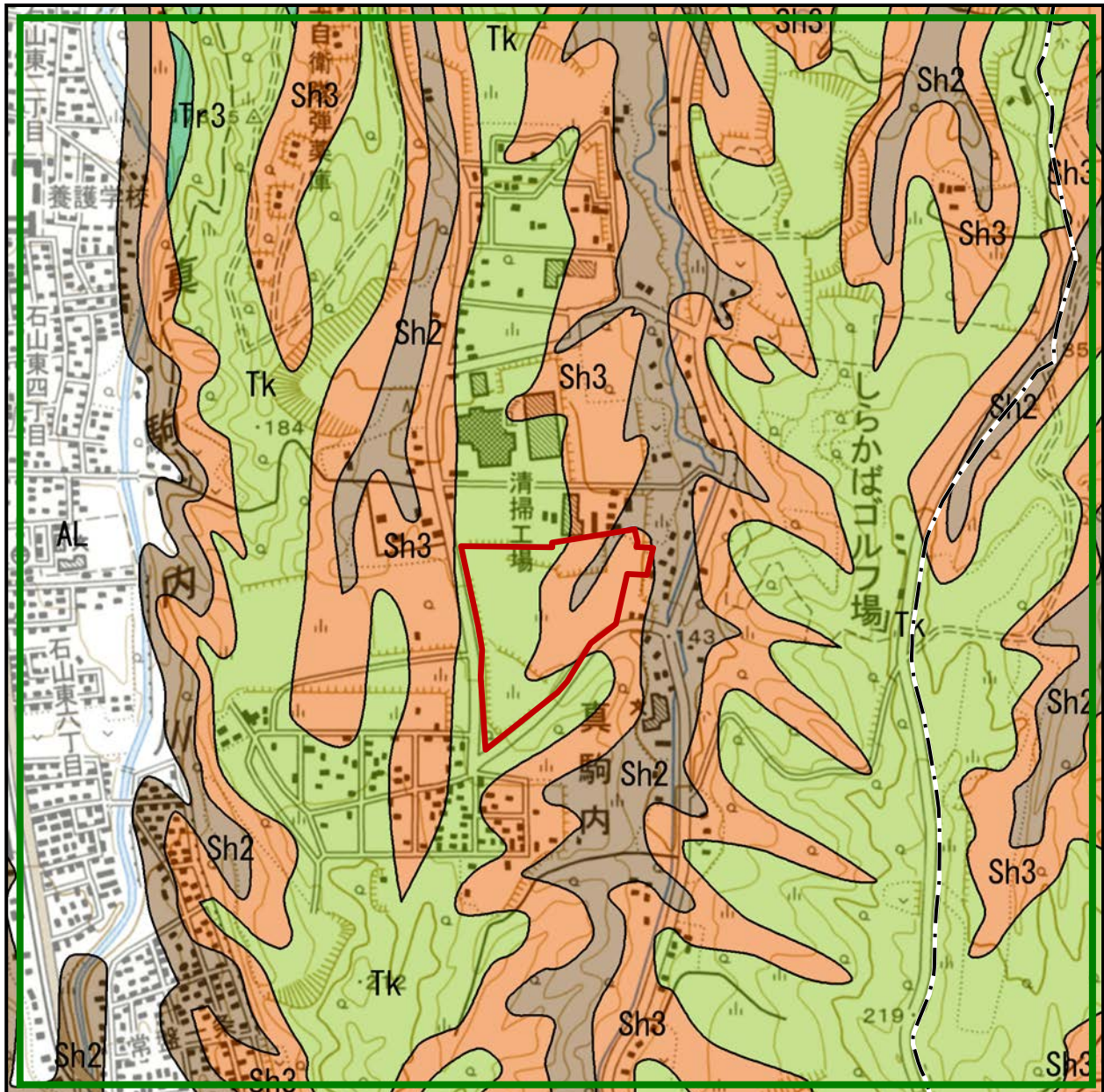
事業実施想定区域の周辺における表層地質の分布状況を、表 3-2-2-2 及び図 3-2-2-2 に示す⁵⁰⁾。

火山灰、火山灰質粘土、浮石質凝灰岩（火山灰）及び含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩が広範囲に分布しており、真駒内川流域には砂・礫・粘土が分布している。

表 3-2-2-2 影響想定地域における地質の分布状況⁵⁰⁾

地質時代		地層名	記号	岩相	
第四紀	沖積世	現河川堆積物	Al	砂、礫、粘土	
	洪積世	月寒火山灰層	Tk	火山灰、火山灰質粘土	
		厚別砂礫層	Tr3	砂、礫	
		支笏火山噴出物	豊平浮石部層	Sh3	浮石質凝灰岩（火山灰）
			支笏熔結凝灰岩	Sh2	含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩

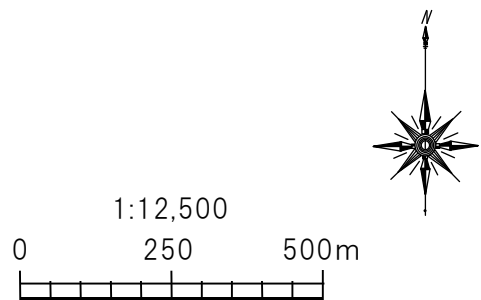
50) 北海道立地下資源調査所「5万分の1地質図幅 石山」（昭和30年）



凡 例	
	事業実施想定区域
	影響想定地域（地形及び地質）
	区 界
	砂、礫、粘土
	火山灰、火山灰質粘土
	砂、礫
	浮石質凝灰岩（火山灰）
	含石英角閃石普通輝石 紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩

図 3-2-2-2 表層地質図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：北海道立地下資源調査所「5万分の1地質図幅 石山」(昭和30年)

(ウ) 重要な地形・地質の分布状況

影響想定地域（地形及び地質）の周辺における重要な地形・地質は、表 3-2-2-3 のとおり、「日本の地形レッドデータブック」*におけるランク C（緊急な保全が要求される）に該当する豊平川扇状地⁵¹⁾がある。ただし、図 3-2-2-3 のとおり、豊平川扇状地は影響想定地域（地形及び地質）には含まれない。

影響想定地域（地形及び地質）は、扇状地の上流部にある火山灰台地に位置しており、他文献の図 3-2-2-1 及び図 3-2-2-2 においても概ね同様である。

表 3-2-2-3 重要な地形・地質⁵¹⁾

名称	カテゴリー	地形の特性	選定基準	ランク
豊平川	Ⅲ	溪谷・扇状地河川	③	C
カテゴリー		選定基準		ランク
I：変動地形－地殻変動が激しい。 II：火山地形－火山活動が盛ん。 III：河川の作用や風化・侵食によってできる地形－降水量の多さを反映して河川による浸食が活発。 IV：気候を反映した地形－温帯に位置するが、南北に長い列島であるため、気候の地域差が大きい。また氷河時代の痕跡が強く残されている。 V：海岸地形－周囲を海に囲まれ、波などによる浸食も活発である。また氷河時代以降の海面上昇の影響を強く受けている。 VI：地質を反映した地形－地質が複雑。 VII：その他の重要な地形。		①：日本の自然を代表する典型的かつ希少、貴重な地形。 ②：①に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形。 ③：多数存在するが、なかでも最も典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形。 ④：動物や植物などの生育地として重要な地形。		A：現在の保存状況がよく、今後もその継続が求められる地形。 B：現時点で低強度の破壊を受けている地形。今後、破壊が継続されれば、消滅が危惧される。 C：現在著しく破壊されつつある地形。また、大規模開発計画などで破壊が危惧される地形。このランクに属する地形は現状のままでは消滅すると考えられるので、最も緊急な保全が要求される。 D：重要な地形でありながら、すでに破壊され、現存しない地形。

日本地質学会では、「北海道地質百選」⁵²⁾の候補として、南区のいくつかの地質を挙げており、参考として表 3-2-2-4 に示す。

これらはすべて影響想定地域（地形及び地質）の外部に位置しており、最も近い藻南公園は事業実施想定区域から約 2.8 km の距離にある。

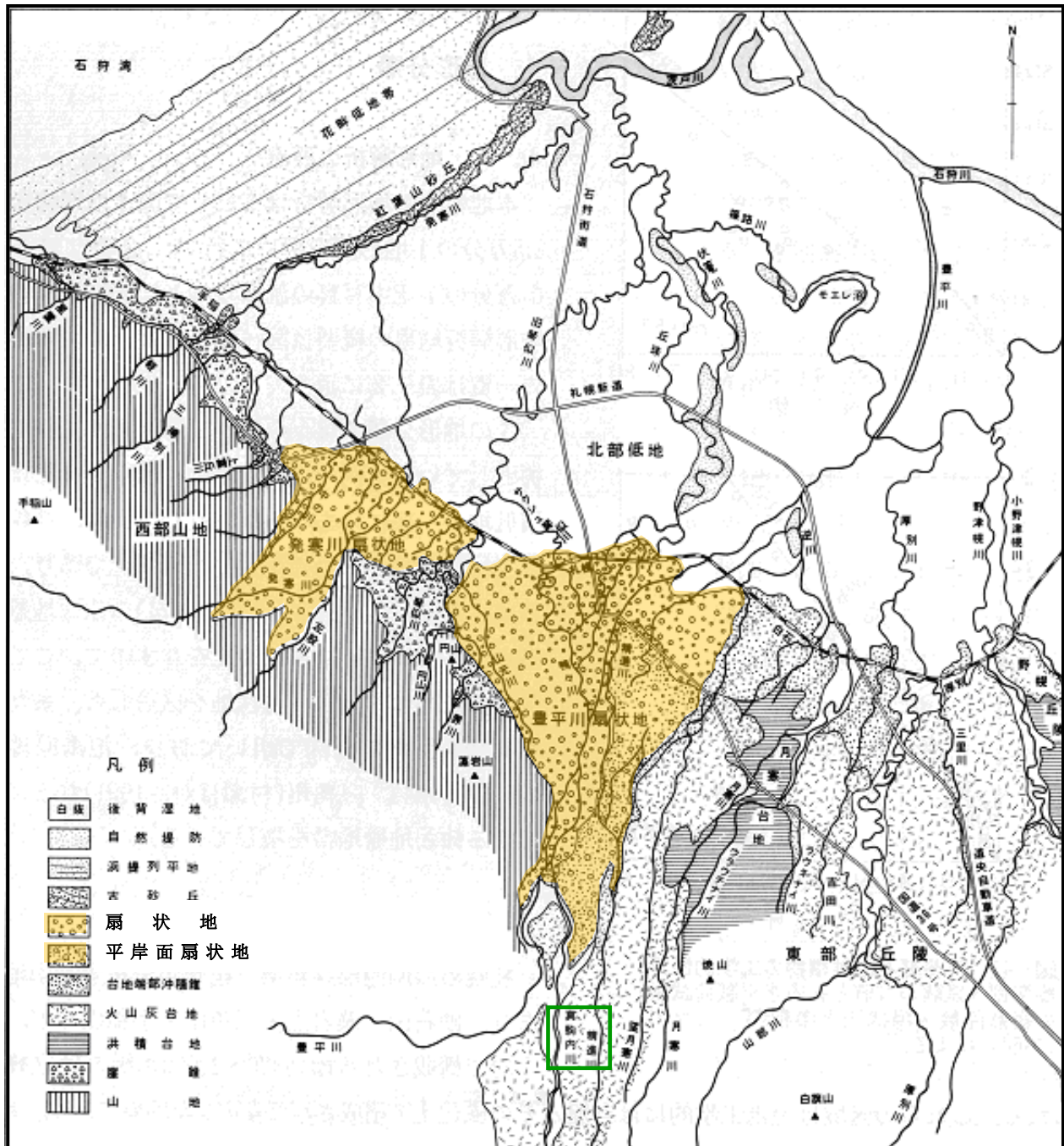
表 3-2-2-4 北海道の地質百選（候補）⁵²⁾

名称	ID	内容	位置
藻南公園のハイアロクラスタイト	0089	新第三紀西野層の水冷破碎岩	南区真駒内柏丘
硬石山デイサイト	0375	柱状節理の露頭	南区石山
札幌軟石石切場跡(藻南公園)	0376	明治時代の石切場	南区真駒内
札幌軟石の採掘現場(辻碎石工業)	0517	明治 25 年以来碎石	南区常盤
真駒内公園の河岸段丘	0679	河岸段丘	南区真駒内

51) (株)古今書院「日本の地形レッドデータブック第 1 集 新装版」* (平成 12 年 12 月)

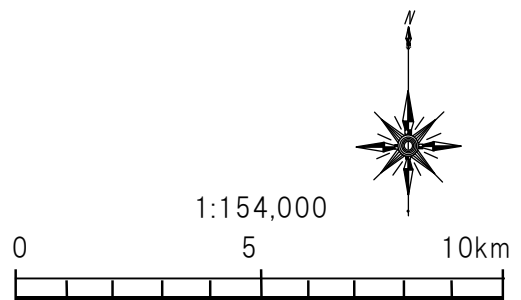
52) 日本地質学会北海道支部「北海道地質百選」(2008 年)

※日本の地形レッドデータブック：現在破壊の危機にあり保存が求められる日本の地形についてまとめたデータブックで、一般的なレッドデータブック（絶滅のおそれのある野生生物について記載されたデータブック）の地形版。



凡例	
	影響想定地域(地形及び地質)
	扇状地及び平岸面扇状地

図 3-2-2-3 札幌地域の地形



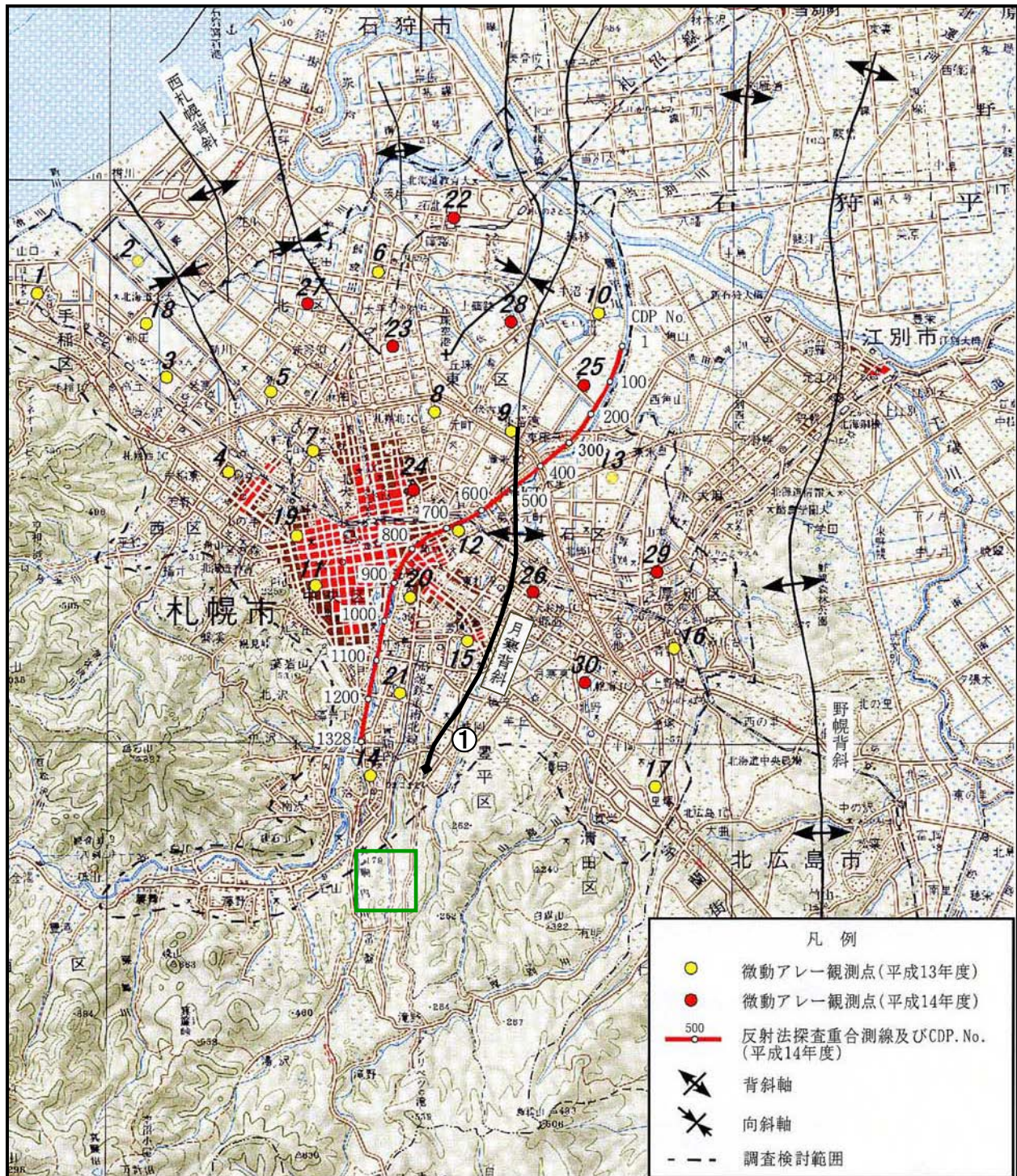
出典：北海道土質コンサルタント,札幌表層地盤図(2m深図),1994)

(エ) 活断層

影響想定地域（地形及び地質）の周辺においては、図 3-2-2-4 のとおり『月寒背斜』が豊平区西岡付近まで確認されている⁵³⁾。

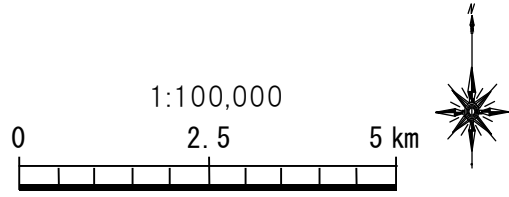
また、札幌近郊では、市の北東部に活断層が多く確認されている。

53) 北海道大学 岡 孝雄, 1997, 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題一付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察, 加藤誠教授退官記念論文集, pp427-449



凡 例	
	影響想定地域(地形及び地質)
①	月 寒 背 斜

図 3-2-2-4
札幌市周辺の褶曲構造の分布



出典) 北海道大学 岡 孝雄, 1997, 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題一付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察, 加藤誠教授退官記念論文集, pp427-449

(オ) 地盤の強さ

事業実施想定区域及びその周囲の表層地盤増幅率の状況^{54) 55)}を、図 3-2-2-5 に示す。

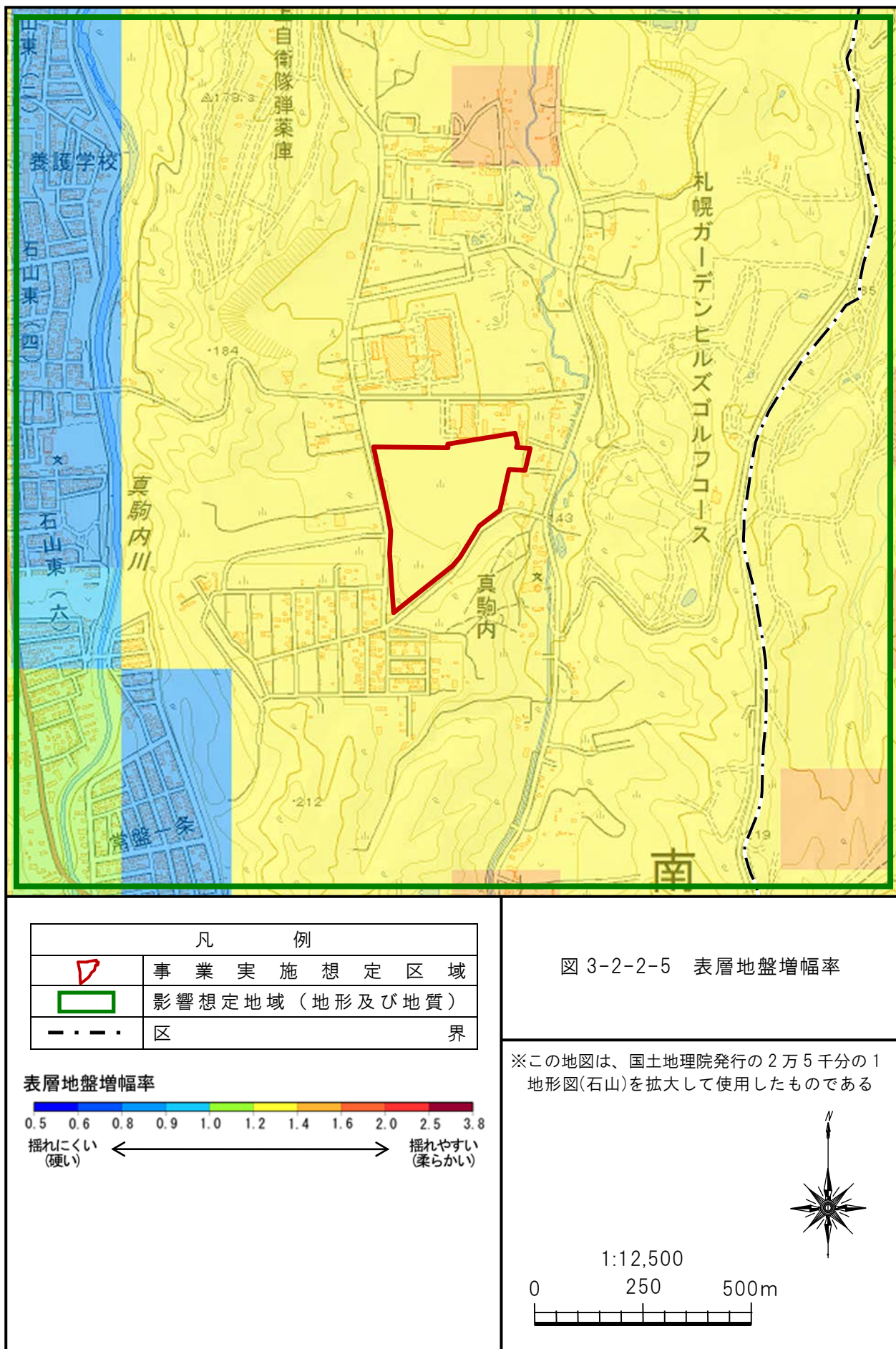
表層地盤増幅率とは、地震時の揺れの大きさを数値化したのもので、数値が大きいほど地盤は弱く、揺れは大きくなる。

我が国においては、増幅率が「1.5」を超えれば一般に要注意とされ、「2.0」以上の場合には強い揺れへの備えが必要とされている。

事業実施想定区域の表層地盤増幅率は「1.3」前後であり、比較的増幅率が低く揺れにくい地盤である。

54) 独立行政法人 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」(2014年版)

55) 藤本一雄、翠川三郎「近接間接点ペアの強震記録に基づく地盤増幅度と地盤の平均 S 波速度の関係」日本地震工学会論文集, 第 6 巻, 第 1 号, pp.11-22,2006



出典：独立行政法人 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」(2014年現在)

イ 動植物の生息または生育、植生及び生態系の状況

(ア) 植物

a 植物種及び植物群落の状況

(a) 植物種

影響想定地域（植物）及びその周辺に生育する植物種について、文献資料及び現地確認により全 105 科 571 種を確認した^{24) 56) 57) 58) 59)}。

影響想定地域（植物）には樹林地、草地、緑の多い市街地等が分布しており、事業実施想定区域は北側にある精進川左岸の市街地と南東部の丘陵地から続く樹林地に隣接した環境にある。

事業実施区域には、これらの環境を反映して道央圏で確認できる一般的な木本のミズナラ、クリ、シラカンバ、オニグルミ、ドロヤナギなどの広葉樹高木、オオカメノキ、ミヤマガマズミ等の低木類、トドマツ、カラマツなどの針葉樹が生育している。また、草本類は、クマイザサ、オオヨモギ、ススキなどが生育している。この他、ヒメスイバ、ハリエンジュ、ユウゼンギク、ビロードホオズキ、オオアワダチソウ等の外来植物も多く生育している。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

59) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしずく 札幌市立駒岡小学校開校 50 周年記念誌」（1999 年）

(b) 植物群落

影響想定地域（植物）及び周辺における植物群落の分布状況を、図 3-2-2-6 の現存植生図にまとめた⁶⁰⁾ ⁶¹⁾。

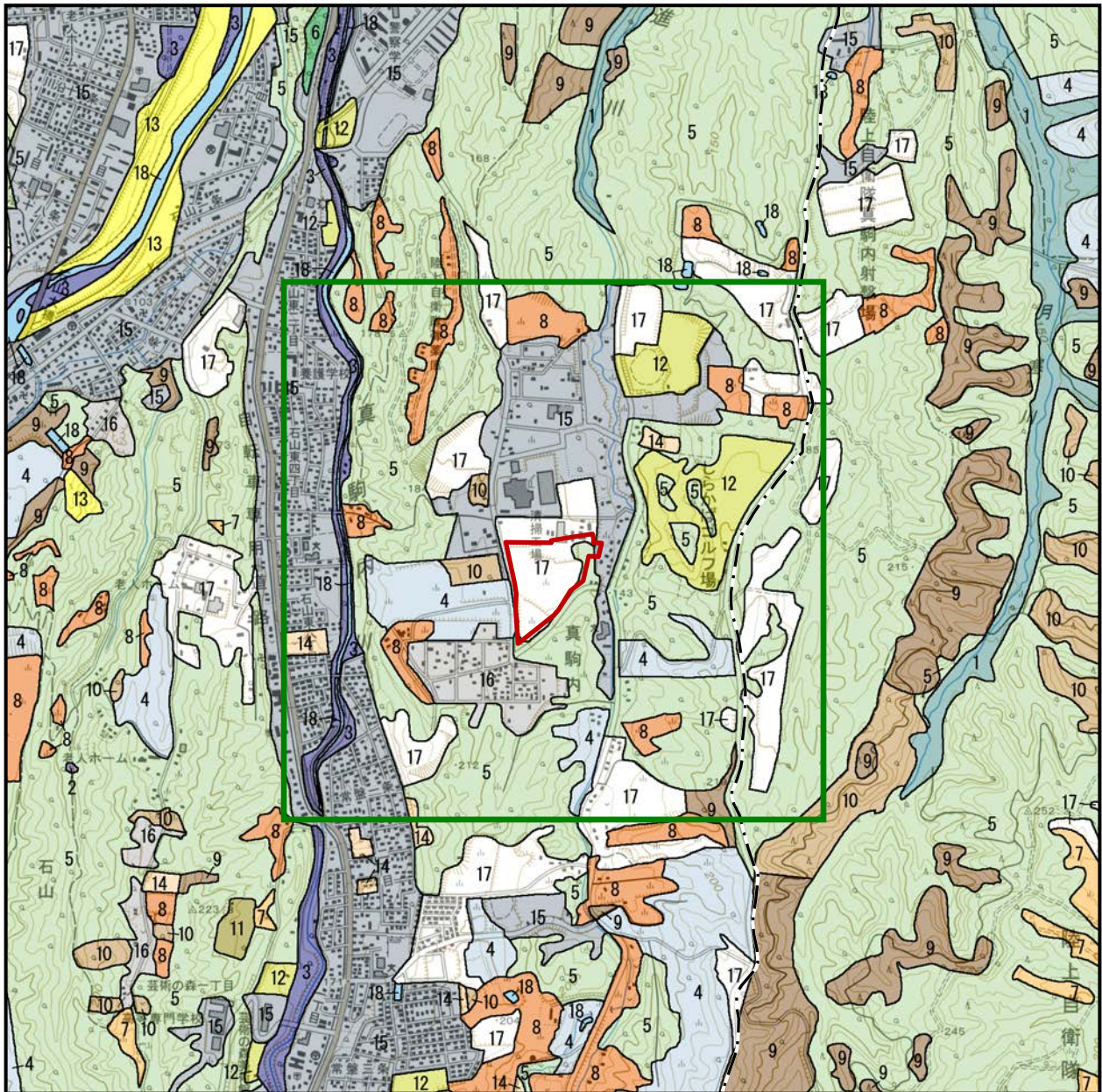
現在の影響想定地域（植物）全体には、シラカンバーミズナラ群落が広がり、部分的にササ-シラカンバ群落やオオヨモギ群落、カラマツ植林、ゴルフ場やグラウンドの芝地が点在している。

過去の航空写真や駒岡の資料等から推測する上では、影響想定地域（植物）は昭和 22 年頃までエゾイタヤ、ミズナラ、シナノキ等の広葉樹林帯であった。しかし、昭和 23 年以後、事業実施想定区域の南東の一部は畑地として開拓され、その後耕作放棄地としてシラカンバやササ等が育成した状況となった。また、昭和 30 年代には現駒岡清掃工場付近が畑地となり、駒岡団地は昭和 41 年頃から造成が始まった。事業実施想定区域は、平成初期に造成が行われ、約 20 年経過している。

現在の影響想定地域（植物）には、札幌市駒岡清掃工場、札幌市駒岡破碎工場、一般財団法人札幌市環境事業公社駒岡資源選別センターなどの廃棄物処理施設が存在し、オオヨモギやススキなどの路傍草本がまばらに生育する環境となっている。

60) 環境省「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査 石山」（平成 17 年）

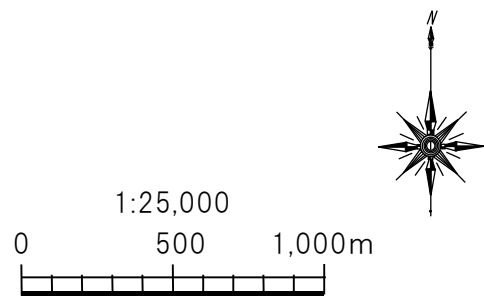
61) 環境省「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査 清田」（平成 17 年）



凡 例					
	事業実施想定区域				
	区 界				
	影響想定地域(植物)				
	1	ハルニレ群落		10	カラマツ植林
	2	ハンキ-ヤチダモ群集		11	外国産樹種植林
	3	ヤナギ高木群落(Ⅳ)		12	ゴルフ場・芝地
	4	ササ-シラカンバ群落		13	牧 草 地
	5	シラカンバ-ミズナラ群落		14	畑 雑 草 群 落
	6	コナラ-ミズナラ群落		15	市 街 地
	7	ササ群落(V)		16	緑の多い住宅地
	8	オオヨモギ群落		17	造 成 地
	9	トドマツ植林		18	開 放 水 面

図 3-2-2-6 現存植生図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：環境省「第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査 石山」(平成17年)
 環境省「第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査 清田」(平成17年)

b 重要な植物の分布状況

(a) 植物種

影響想定地域（植物）及びその周辺における重要な植物種については、文献資料及び現地確認により表 3-2-2-5 に示す 19 科 25 種を確認した^{24) 56) 57) 58) 59)}。

重要種の選定基準①～④は、法及び条例に基づくもの、⑤～⑧は国や北海道により学術的に重要なリストを示すものである。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）
に基づく希少野生動植物種
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく
希少野生動植物
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブックに掲載すべき日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(第4
次レッドリスト)」（環境省 2012年8月）による選定種
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類
VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による
選定種
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書(第 1 回録の国勢調査)」（環境庁 昭和 51 年 3 月）による
選定種
貴：貴重植物
- ⑧：「第 2 回 自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書(全国版)」（環境庁、昭和 57 年）、
「第 3 回 自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 II (北海道版)」（環境庁、昭和 63 年）、
「第 5 回 自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（環境庁、平成 12 年）による選定種
特：特定植物群落

(b) 植物群落

影響想定地域（植物）において、「第 2 回自然環境保全基礎調査」等で選定された特定植物群落は存在しない^{62) 63) 64)}。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

59) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしずく 札幌市立駒岡小学校開校 50 周年記念誌」（1999 年）

62) 環境庁「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 胆振・石狩・空知」（昭和 56 年）

63) 環境庁編「日本の重要な植物群落 北海道版」（昭和 55 年）

64) 札幌市「札幌市主要部植生図（現存植生図、潜在自然植生図、植生分級図）」（昭和 48 年）

表 3-2-2-5 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（植物）

分類群	科名	種名	事業実施 想定区域 及び周辺 の記録	選定基準								
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
被子植物 離弁花類	タデ	ノダイオウ ⁵⁷⁾	—					VU				
	ナデシコ	エゾマンテマ ⁵⁷⁾	—					VU	Vu	貴		
	キンポウゲ	アカミノレイウショウマ ²⁴⁾	—								貴	
		フクジュソウ ^{24) 57) 59)}	▲ ⁵⁹⁾							Vu		
	シラネアオイ	シラネアオイ ⁵⁷⁾	—						Vu			
	ボタン	ヤマシャクヤク ⁵⁸⁾	● ⁵⁸⁾					NT	R			
	アブラナ	モイワナズナ ⁵⁷⁾	—					EN	Vu	貴		
	ユキノシタ	ヤマハナソウ ⁵⁷⁾	—								貴	
	バラ	エゾシモツケ ⁵⁷⁾	—					VU				
	マメ	イワオウギ ⁵⁷⁾	—							R		
	アカバナ	ヤマタニタデ ⁵⁷⁾	—					VU				
被子植物 合弁花類	イチヤクソウ	オオウメガサソウ ²⁴⁾	—					NT				
	リンドウ	ホソバツルリンドウ ⁵⁷⁾	—					VU				
	シソ	カイジンドウ ⁵⁷⁾	—					VU				
	ハマウツボ	キヨスミウツボ ⁵⁷⁾	—							R		
	キク	イワヨモギ ⁵⁷⁾	—					VU				
エゾムカシヨモギ ⁵⁷⁾		—									貴	
単子葉植物	ヒルムシロ	イトモ ²⁴⁾	—					NT				
	ユリ	カタクリ ^{57) 59)}	▲ ⁵⁹⁾							N		
	ミクリ	タマミクリ ²⁴⁾	—					NT				
	ラン	サルメンエビネ ^{57) 59)}	▲ ⁵⁹⁾					VU	En			
		クゲヌマラン ⁵⁷⁾	—					VU				
		トケンラン ⁵⁷⁾	—					VU				
		フタバラン ²⁴⁾	—							R		
	ヒロハトンボソウ ⁵⁷⁾	—					VU					
	19科	25種	4種	0	0	0	0	16	10	5	0	

- 注1：ヒノキアスナロを確認したが、植栽されたものであり自生ではないため選定しなかった。
 2：事業実施想定区域周辺1km以内の確認位置が不明な種を「—」と表記した。
 3：「●」は平成25年度調査等により事業実施想定区域周辺1km以内の位置情報が明確なものを示す。
 4：「▲」は駒岡小学校記念誌において学校林で観察報告のあるものを示す。
 5：種名上の番号[□]は、文献及び現地確認の該当番号を示す。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成17年5月）
 57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」
 58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成26年3月）
 59) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしずく 札幌市立駒岡小学校開校50周年記念誌」（1999年）

(イ) 動物

a 動物種及び地域個体群の状況

影響想定地域及びその周辺に生息する動物について、文献資料及び現地確認により、哺乳類 4 目 6 科 13 種、鳥類 13 目 36 科 89 種、両生類 2 目 3 科 4 種、は虫類 1 目 3 科 4 種、魚類 6 目 8 科 13 種、昆虫類 14 目 193 科 1,045 種、底生動物 16 目 55 科 101 種を確認した^{24) 56) 57) 58) 59) 62) 65) 66)}。

(a) 哺乳類

哺乳類については、森林を主な生息地とする中型哺乳類のキタキツネ、エゾタヌキ、テン属の一種、また、小型哺乳類のオオアシトガリネズミ、エゾリスを確認した。この他に、草原を主な生息地とする哺乳類のエゾユキウサギ、エゾヤチネズミなどを確認した。

(b) 鳥類

鳥類については、森林を主な生息地とするエゾライチョウ、アオバト、ツツドリ、アカゲラ、カケス、キビタキ、シジュウカラ、チゴハヤブサなどを確認した。また、草原や農耕地を主な生息地とするトビ、ヒヨドリ、ホオジロ、スズメなどのほか、水辺の鳥類であるマガモ、アオサギ、カワセミなどを確認した。

(c) 両生類

両生類については、森林を主な生息地とするエゾサンショウウオやエゾアカガエルその他、水田などを主な生息地とするアマガエル、ツチガエルを確認した。

(d) は虫類

は虫類については、トカゲ、カナヘビ、シマヘビ、アオダイショウを確認した。

(e) 魚類

魚類については、事業実施想定区域の周辺を流下する真駒内川と精進川でスナヤツメ、サクラマス、エゾウグイ、フクドジョウ、ハナカジカなどを確認した。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」(平成 17 年 5 月)

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」(平成 26 年 3 月)

59) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしずく 札幌市立駒岡小学校開校 50 周年記念誌」(1999 年)

62) 環境庁「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 胆振・石狩・空知」(昭和 56 年)

65) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 13 号(1999 年度)」(2001 年 3 月)

66) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 14 号(2000 年度)」(2002 年 3 月)

(f) 昆虫類

昆虫類については、主に森林に生息するコエゾゼミ、エゾマイマイカブリ、ムネアカオオアリなどや、草地に生息するハネナガキリギリス、ジョウカイボン、ホソヒラタアブ、キアゲハなどを確認した。また、湿地等の水辺ではルリイトトンボ、ヒメアメンボ、エゾヒメゲンゴロウ、ムラサキトビケラなどを確認した。

(g) 底生動物

底生動物については、スジエビ、ニホンザリガニなどの甲殻類、カワニナ、モノアラガイなどの貝類、フタバコカゲロウ、オニヤンマ、ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビケラなどの水生昆虫類を確認した。

b 重要な種（動物）の分布状況

影響想定地域及びその周辺に生息する重要な種（動物）については、哺乳類 2 目 2 科 2 種、鳥類 7 目 8 科 13 種、両生類 1 目 1 科 1 種、魚類 5 目 7 科 8 種、昆虫類 4 目 7 科 11 種、底生動物 2 目 2 科 2 種を確認した。

(a) 哺乳類

重要な種（哺乳類）として、表 3-2-2-6 の 2 目 2 科 2 種を確認した^{24) 58)}。

なお、テン属の一種については、糞及び足跡を現地確認している⁵⁸⁾。道央地方における分布状況から、エゾクロテンまたはホンドテン（移入種）のいずれかであるが、痕跡による種の判定は困難であるため、エゾクロテンの可能性を考慮して重要な種の一つに取り上げた。資料によると、事業実施想定区域及びその周辺の広い範囲を行動している可能性が高い。

表 3-2-2-6 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（哺乳類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
ネズミ	リス	エゾモモンガ ²⁴⁾	—								主
ネコ	イタチ	テン属の一種(エゾクロテンの可能性) ^{24) 58)}	●					NT			主
2 目	2 科	2 種	1 種								

注：事業実施想定区域の周辺 1 km 以内の確認種を「●」で示し、周辺 1 km 以内の確認位置が不明な種を「—」で示した。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）に基づく希少野生動植物種
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく希少野生動植物
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-1哺乳類」（環境省 2014年9月）による選定種
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類
VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による選定種
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書(第 1 回緑の国勢調査)」（環境庁 昭和 51 年 3 月）による選定種
主：主要野生動物 リ：すぐれた野生動物リスト 図：すぐれた自然図

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

(b) 鳥 類

重要な種（鳥類）については、表 3-2-2-7 に示す 7 目 8 科 13 種を確認した²⁴⁾ 57) 58)。

ここで、選定基準①～③の鳥類として、オジロワシ、オオタカ、クマゲラに関する情報があるが、滝野霊園周辺における飛翔確認が主なものである。

ただし、クマゲラについては事業実施想定区域周辺で食採痕を確認している。

表 3-2-2-7 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（鳥類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
キジ	キジ	エゾライチョウ ²⁴⁾	—					DD	R		
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ ²⁴⁾	—					NT	R		
アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ ^{24) 58)}	●								稀
タカ	ミサゴ	ミサゴ ²⁴⁾	—					NT	Vu		稀
	タカ	ハチクマ ²⁴⁾	—					NT	R		稀
		オジロワシ ²⁴⁾	—	天		内		VU	En	主	稀
		ハイタカ ²⁴⁾	—					NT	Vu		
		オオタカ ²⁴⁾	—			内		NT	Vu		稀
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ ⁵⁷⁾	—							主	
	ヤマセミ ⁵⁷⁾	—						R	主		
キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ ²⁴⁾	—						N		
		クマゲラ ^{24) 58)}	●	天				VU	Vu	主	稀
ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ ²⁴⁾⁵⁷⁾	—								稀
7 目	8 科	13 種	2 種	2	0	2	0	8	10	4	7

注：事業実施想定区域の周辺 1 km 以内の確認種を「●」で示し、周辺 1 km 以内の確認位置が不明な種を「—」で示した。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）に基づく希少野生動植物種
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく希少野生動植物種
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-2鳥類」（環境省 2014年9月）による選定種
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類
VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による選定種
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書(第 1 回緑の国勢調査)」（環境庁 昭和 51 年 3 月）による選定種
主：主要野生動物 リ：すぐれた野生動物リスト 図：すぐれた自然図
- ⑧：「第 2 回自然環境保全基礎調査報告書(緑の国勢調査)」（環境庁 昭和 58 年 3 月）による選定種
稀：希少種

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

(c) 両生類

重要な種（両生類）については、表 3-2-2-8 に示すエゾサンショウウオ 1 種を確認した²⁴⁾。

表 3-2-2-8 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（両生類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
サンショウウオ	サンショウウオ	エゾサンショウウオ ²⁴⁾	—					DD	N	主	調
1 目	1 科	1 種		0	0	0	0	1	1	1	1

注：事業実施想定区域周辺 1 km 以内の確認位置が不明な種を「—」と表記した。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）に基づく希少野生動植物種
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく希少野生動植物
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-3爬虫類・両生類」（環境省 2014年9月）による選定種
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類
VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による選定種
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書(第 1 回緑の国勢調査)」（環境庁 昭和 51 年 3 月)による選定種
主：主要野生動物 リ：すぐれた野生動物リスト 図：すぐれた自然図
- ⑧：「第 2 回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）」動物分布調査(両生類・は虫類)報告書
日本の重要な両生類・は虫類 北海道版（環境庁 昭和 57 年 3 月）による選定種
調：調査対象種

(d) は虫類

事業実施想定区域及びその周辺において、文献資料及び現地確認による重要な種（は虫類）は確認されなかった。^{24) 58)}。

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

(e) 魚 類

重要な種（魚類）については、表 3-2-2-9 に示す 5 目 7 科 8 種を確認した^{24) 56) 57) 66)}。

表 3-2-2-9 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（魚類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ北方種 ²⁴⁾⁵⁷⁾	—					VU			
		カワヤツメ ⁵⁷⁾	—					VU			
サケ	サケ	サクラマス（ヤマメ） ^{24) 56) 57) 66)}	—					NT	N		
	アユ	アユ ^{57) 66)}	—						R		
コイ	コイ	エゾウグイ ^{56) 57) 66)}	—						N		
	ドジョウ	エゾホトケドジョウ ⁶⁶⁾	—					EN			
トゲウオ	トゲウオ	トミヨ属淡水型 ^{24) 56)}	—								調
カサゴ	カジカ	ハナカジカ ^{24) 57) 66)}	—						N		
5 目	7 科	8 種		0	0	0	0	4	4	0	1

注：事業実施想定区域周辺 1 km 以内の確認位置が不明な種を「—」と表記した。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）に基づく希少野生動植物種
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく希少野生動植物
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブックに掲載すべき日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(第4次レッドリスト)」（環境省 2012年8月）による選定種
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類
VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による選定種
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書(第 1 回緑の国勢調査)」（環境庁 昭和 51 年 3 月）による選定種
主：主要野生動物リ：すぐれた野生動物リスト 図：すぐれた自然図
- ⑧：「第 2 回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）」動物分布調査
（淡水魚類）報告書 日本の重要な淡水魚類 北海道版（環境庁 昭和 57 年 1 月）による選定種
調：調査対象種

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」

66) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 14 号(2000 年度)」（2002 年 3 月）

(f) 昆虫類

重要な種（昆虫類）については、表 3-2-2-10 に示す 4 目 7 科 11 種を確認した²⁴⁾ 58)。

既存資料によると、ツノアカヤマアリ、エゾアカヤマアリ、テラニシケアリの 3 種について、事業実施想定区域外の林縁部や草原環境で確認している。これらは、周辺的环境に広く生息している可能性が高い⁵⁸⁾。

表 3-2-2-10 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（昆虫類）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準								
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
トンボ	イトトンボ	キタイトンボ ²⁴⁾	—								リ 図	特
		ルリイトトンボ ²⁴⁾	—									特
コウチュウ	オサムシ	セアカオサムシ ²⁴⁾	—					NT				
	ミズスマシ	コミズスマシ ²⁴⁾	—					EN	R			
		ミズスマシ ²⁴⁾	—					VU	R			
ハチ	アリ	ツノアカヤマアリ ⁵⁸⁾	●					DD				
		テラニシケアリ ⁵⁸⁾	●					NT				
		エゾアカヤマアリ ^{24) 58)}	●					VU				
	スズメバチ	モンズズメバチ ²⁴⁾	—					DD				
チョウ	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン ²⁴⁾	—					VU				
	ヤガ	キスジウスキョトウ ²⁴⁾	—					VU				
4 目	7 科	11 種	3 種	0	0	0	0	9	2	1	2	

注：事業実施想定区域の周辺 1 km 以内の確認種を「●」で示し、周辺 1km 以内の確認位置が不明な種を「—」で示した。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）に基づく希少野生動植物種
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく希少野生動植物
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブックに掲載すべき日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(第4次レッドリスト)」（環境省 2012 年 8 月）による選定種
EX：絶滅種 EW：野生絶滅種 CR：絶滅危機ⅠA 類 EN：絶滅危機ⅠB 類
VU：絶滅危機Ⅱ類 NT：準絶滅危機 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による選定種
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危機種
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書(第 1 回緑の国勢調査)」（環境庁 昭和 51 年 3 月）による選定種
主：主要野生動物 リ：すぐれた野生動物リスト 図：すぐれた自然図
- ⑧：「第 2 回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査) 動物分布調査(昆虫類)報告書 日本の重要な昆虫類 北海道版（環境庁 昭和 55 年 4 月）による選定種
指：指標昆虫類 特：特定昆虫類

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

58) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」（平成 26 年 3 月）

(g) 底生動物

重要な種（底生動物）として、表 3-2-2-11 に示す 2 目 2 科 2 種を確認した²⁴⁾
56) 57) 65)。

表 3-2-2-11 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（底生動物）

目名	科名	種名	事業実施 想定区域 周辺の記録	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
エビ	アメリカザリガニ	ニホンザリガニ ^{24) 56) 57) 65)}	●					VU			
基眼	モノアラガイ	モノアラガイ ⁵⁶⁾	—					NT			
2目	2科	2種	1種	0	0	0	0	2	0	0	0

注：事業実施想定区域の周辺 1 km 以内の確認種を「●」で示し、周辺 1 km 以内の確認位置が不明な種を「—」で示した。

【選定基準】

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年 法律第 214 号）に基づく天然記念物
特天：特別天然記念物 天：天然記念物
- ②：「北海道文化財保護条例」（昭和 30 年 北海道条例第 83 号）に基づく天然記念物
- ③：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号）に基づく希少野生動植物種
内：国内希少野生動植物種
- ④：「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」（平成 25 年 北海道条例第 9 号）に基づく希少野生動植物種
指：指定希少野生動植物種 特：特定希少野生動植物種
- ⑤：「レッドデータブックに掲載すべき日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（第 4 次レッドリスト）」（環境省 2012 年 8 月）による選定種
「レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-6 貝類・7 その他無脊椎動物」（環境省 2014 年 9 月）による選定種
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類
VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑥：「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」（北海道 平成 13 年 3 月）による選定種
Ex：絶滅種 Ew：野生絶滅種 Cr：絶滅危機種 En：絶滅危惧種
Vu：絶滅危急種 R：希少種 Lp：地域個体群 N：留意種
- ⑦：「自然環境保全調査報告書（第 1 回緑の国勢調査）」（環境庁 昭和 51 年 3 月）による選定種
主：主要野生動物 リ：すぐれた野生動物リスト 図：すぐれた自然図
- ⑧：「第 2 回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）」動物分布調査（昆虫類）報告書 日本の重要な昆虫類 北海道版（環境庁 昭和 55 年 4 月）による選定種
指：指標昆虫類 特：特定昆虫類

24) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」（平成 17 年 5 月）

56) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース（精進川）」

57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース（真駒内川）」

65) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 13 号(1999 年度)」（2001 年 3 月）

(ウ) 生態系

a 地域の生態系の分布状況

地域の生態系の分布状況を把握するため、事業実施想定区域及びその周辺に係る地域を特徴づける自然環境について、類型区分を行った。

地形分類図、土壌図、現存植生図、文献資料及び現地確認等をもとに作成した10種の自然環境類型区分を、表3-2-2-12及び図3-2-2-7に示す。

事業実施想定区域及びその周辺は、主に「丘陵地－自然林」、「丘陵地－雑草草原」、「緑の多い住宅地・管理草地」に区分され、このうち事業実施想定区域には主に「丘陵地－雑草草原」が分布している。いずれもシラカンバ主体の先駆性樹木と草本が繁茂した環境である。

以下に、類型区分ごとの植生状況を詳述する。

(a) 丘陵地－自然林

丘陵地-自然林は、影響想定地域の住宅地以外の大部分を占め、主にシラカンバーミズナラ群落、ササーシラカンバ群落などの二次林が分布している。

また、森林性動植物により構成される森林生態系の成立基盤の一部であり、影響想定地域内では比較的多様性の高い生態系である。

(b) 低地－自然林

低地-自然林は、真駒内川沿いなどに部分的に分布している。主にヤナギ高木群落やシラカンバーミズナラ群落が、河畔林沿いと河岸段丘斜面の生態系を創出している。

(c) 丘陵地－人工林

丘陵地-人工林は、事業実施想定区域の西側と南東側に分布している。面積は広くはなく、主にトドマツ植林、カラマツ植林からなる人工林である。

(d) 丘陵地－雑草草原

丘陵地－雑草草原は、影響想定地域に比較的まばらに大面積で分布し、造成地や住宅地周辺に多く見られる。植物種は大部分がオオヨモギ群落であり、草原性の生態系を形成している。この類型区分が事業実施想定区域の大部分を占め、もとの造成地から植生が回復し雑草群落や灌木が生育する環境に変遷している箇所も多い。

(e) 低地－雑草草原

低地-雑草草原分は、影響想定区域の西側に分布し、真駒内川右岸にまばらに分布している。植物種は大部分がオオヨモギ群落で、草原性の生態系を形成している。

(f) 丘陵地－畑雑草群落

丘陵地－畑雑草群落は、事業実施想定区域の北東部に分布する小規模な畑地に形成している雑草群落である。

(g) 低地－畑雑草群落

低地－畑雑草群落は、影響想定地域の西端に分布する畑地に形成している小規模な雑草群落である。

(h) 市街地

市街地は、西側の石山東地区に分布する。真駒内川沿いは養護学校や小学校が存在する人口集中地域である。

(i) 緑の多い住宅地・管理草地

緑の多い住宅地・管理草地は、事業実施想定区域の周囲に広く分布し、主に緑の多い住宅地から成る類型区分である。また、精進川の東側にはゴルフ場とグラウンド・野球場が分布している。

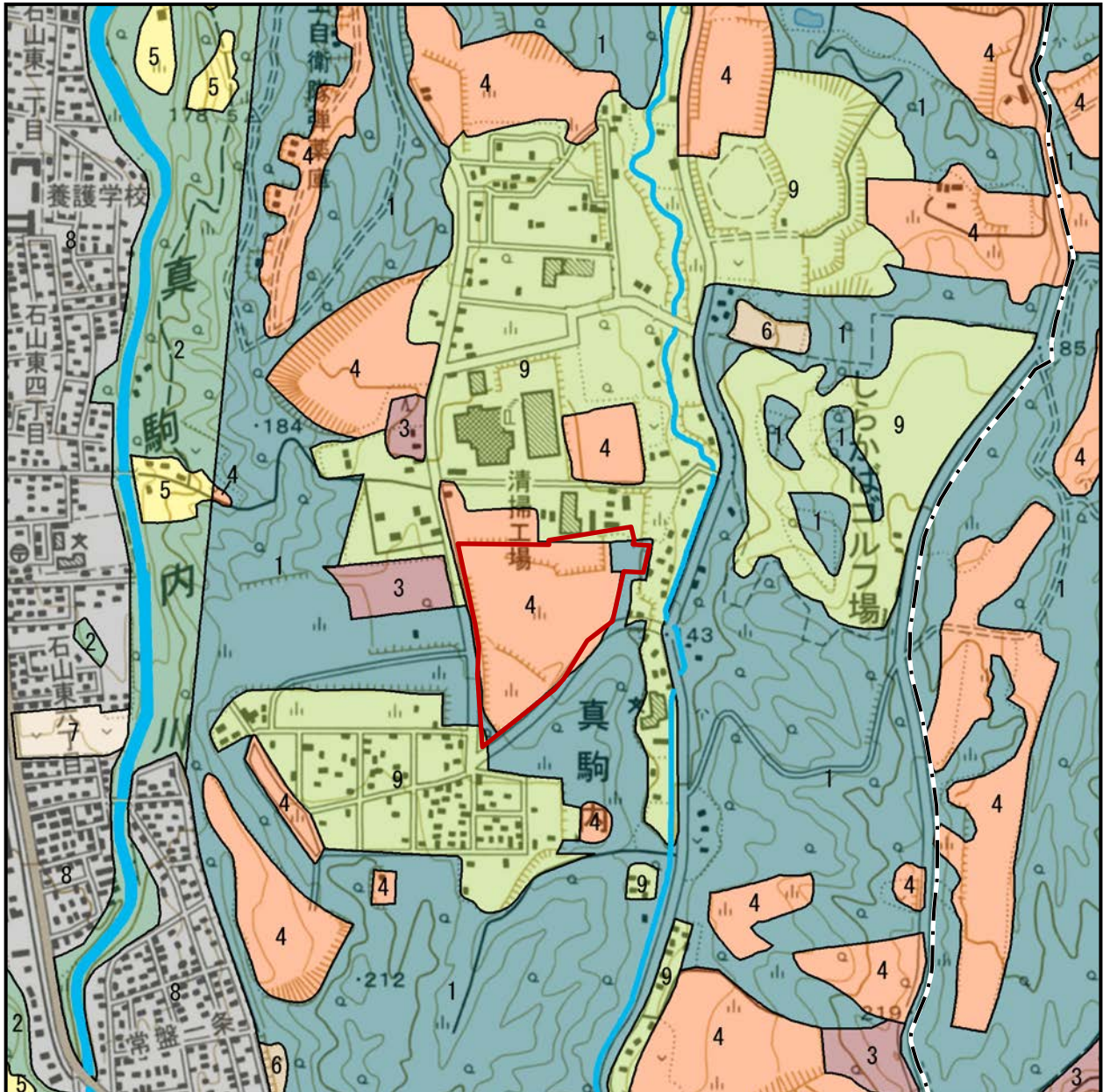
(j) 水域

水域は、事業実施想定区域の西側に流下する真駒内川と、東側を流下する精進川である。川沿いの河畔林と密接に関連した水域生態系を形成している。

表 3-2-2-12 自然環境類型区分表

自然環境類型区分	分布状況	地形区分・土壌の状況	植生区分の状況
1 丘陵地－自然林	影響想定地域全体に分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、主に火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	シラカンバーミズナラ群落、ササーシラカンバ群落が分布する。
2 低地－自然林	主に真駒内川沿いに分布する。	扇状地性低地に地形分類され、砂・礫・粘土、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、浮石質凝灰岩（火山灰）、砂、礫、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	ヤナギ高木群落（Ⅳ）、シラカンバーミズナラ群落、ササーシラカンバ群落が分布する。
3 丘陵地－人工林	事業実施想定区域周辺と影響想定地域の南東部に分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、浮石質凝灰岩（火山灰）、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	トドマツ植林、カラマツ植林が分布する。
4 丘陵地－雑草草原	事業実施想定区域全体に疎らに分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、浮石質凝灰岩（火山灰）、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	主にオオヨモギ群落と造成に生育し始めたススキ、オオアワダチソウ等の雑草種が分布する。
5 低地－雑草草原	真駒内川右岸沿いに小規模に分布する。	扇状地性低地に地形分類され、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、浮石質凝灰岩（火山灰）、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	主にオオヨモギ群落が分布する。
6 丘陵地－畑雑草群落	事業実施想定区域の東部や影響想定地域の南部に小規模分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、主に浮石質凝灰岩（火山灰）に覆われる。	畑地及び畑地周辺に成立する雑草群落であり、スギナ、シロザ、ツククサ等が主な構成種である。
7 低地－畑雑草群落	真駒内川左岸の住宅地に中に小規模に分布する。	扇状地性低地に地形分類され、砂・礫・粘土に覆われる。	畑地及び畑地周辺に成立する雑草群落であり、スギナ、シロザ、ツククサ等が主な構成種である。
8 市街地	影響想定地域の西部に真駒内川に沿って住宅密集地が分布する。	扇状地性低地に地形分類され、主に砂・礫・粘土に覆われる。島松丘陵側は含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、浮石質凝灰岩（火山灰）に覆われる。	植生はほとんどみられない。
9 緑の多い住宅地・管理草地	事業実施想定区域周辺とその南部に分布する。	大起伏丘陵地に地形分類され、浮石質凝灰岩（火山灰）、含石英角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩質熔結凝灰岩、火山灰、火山灰質粘土に覆われる。	主に住宅地、公園緑地、ゴルフ場などに利用されており、路傍草本の生育や芝が見られる。
10 水域	影響想定地域南から北へ流下する。	真駒内川と精進川の流水環境が分布する。	真駒内川沿いは主にヤナギ高木林に分布する。精進川では住宅地を流下しており、沿いにシラカンバ、ヤナギ類などの先駆樹種が疎らに生育する程度である。

注：類型区分の番号は、図 3-2-2-7 に対応している。

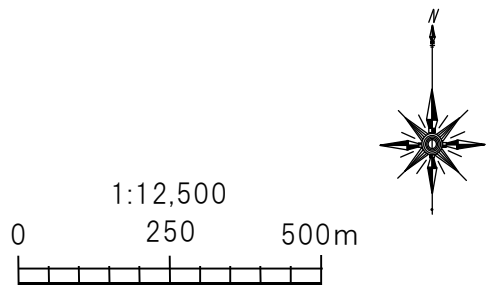


凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界
	丘陵地 - 自然林
	低地 - 自然林
	丘陵地 - 人工林
	丘陵地 - 雑草草原
	低地 - 雑草草原
	丘陵地 - 畑雑草群落
	低地 - 畑雑草群落
	市 街 地
	緑の多い住宅地・管理草地
	水 域

注：類型区分番号は、本文中の表 3-2-2-12 に対応している。

図 3-2-2-7 自然環境類型区分図

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：現存植生図、地形分類図、河川網図及び駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務調査報告書を参照して作成

b 重要な自然環境類型区分及び代表する生物種

地域を特徴づける 10 種の自然環境類型区分のうち、分布面積、生物の多様性、及び連続性の観点から特に重要な類型区分を、表 3-2-2-13 の 5 区分に選定した。

また、これら重要な自然環境類型区分を代表する生物種について、文献資料、現地確認及び既存の知見等の情報を表中に示した。

表 3-2-2-13 重要な自然環境類型区分に代表される生物種

類型区分	丘陵地－自然林	丘陵地－雑草草原	緑の多い住宅地・管理草地	丘陵地－人工林	水域
代表する生物種	<ul style="list-style-type: none"> ●植物 シラカンバ ミスナラ エゾイタヤ マイヅルソウ ●哺乳類 エゾタヌキ エゾリス エゾモモンガ ●鳥類 ハチクマ ゴシユウカラ キシハト ヤマガラ キビタキ ●爬虫類 アオダイショウ トカゲ ●両生類 エゾサンショウウオ エゾアカガエル ●昆虫類 コエゾセミ アオカナブン トノキハシ モンズメハチ コムラサキ オオシロシタハ 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物 クサフジ ハリエンジュ オオヨモギ ススキ ●哺乳類 キタキツネ エゾユキウサギ エゾヤチネズミ ●鳥類 カッコウ アリスイ ホオシロ スズメ ●爬虫類 カナヘビ ●両生類 アマガエル ●昆虫類 アキアカネ ハネナガキリギリス マメコガネ トビイロケアリ シオヤアブ ヘニシジミ 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物 ナナカマド アカザ ノニンジン オオハコ ●哺乳類 キタキツネ キタイイスナ オオアシカリネズミ ●鳥類 チゴハヤブサ アカゲラ ハシブトガラス シシユウカラ ヒヨドリ ●爬虫類 シマヘビ ●両生類 アマガエル ●昆虫類 カンタン ナカメ ナナホシテントウ クロオオアリ ハナアブ モンシロチョウ 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物 トマツ カラマツ クロマツ アカエゾマツ ●哺乳類 キタキツネ エゾタヌキ エゾリス エゾアカネズミ ●鳥類 オオタカ ハイトカ キクイタダキ ヒガラ ハシホソガラス ●爬虫類 － ●両生類 エゾアカガエル ●昆虫類 マダラカマトウマ エゾハルセミ インカクロナガオサムシ ムネアカオオアリ カラマツイトヒキハマキ クロヒカゲ 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物 オノエヤナギ ヨシ ガマ ヒロトスゲ ●哺乳類 イタチ属の一種 ●鳥類 オシロワシ マカモ アオサギ カワセミ カワガラス ●爬虫類 シマヘビ ●両生類 エゾサンショウウオ (産卵池) エゾアカガエル アマガエル ●昆虫類 オニヤンマ ルリイトンボ アメンボ センブリ エゾヒメゲンゴロウ ヒゲナガカワトビケラ ●魚類 エゾウグイ フクトシヨウ エゾホトケトシヨウ トミヨ属淡水型 ●甲殻類 スジエビ ニホンザリガニ ●貝類 カワニナ

ウ 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況

(ア) 景観

a 地域景観の状況

影響想定地域（景観）の景観は、森林や草地の自然景観、西部に広がる市街地の都市景観となっている⁶⁰⁾。

また、精進川や真駒内川の河川沿いは、河川景観となっている。

60) 環境省「第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査 石山」（平成14年）

b 景観資源の分布状況

(a) 自然景観資源

影響想定地域(景観)の自然景観資源の分布状況を、表 3-2-2-14 及び図 3-2-2-8 に示す^{67) 68)}。

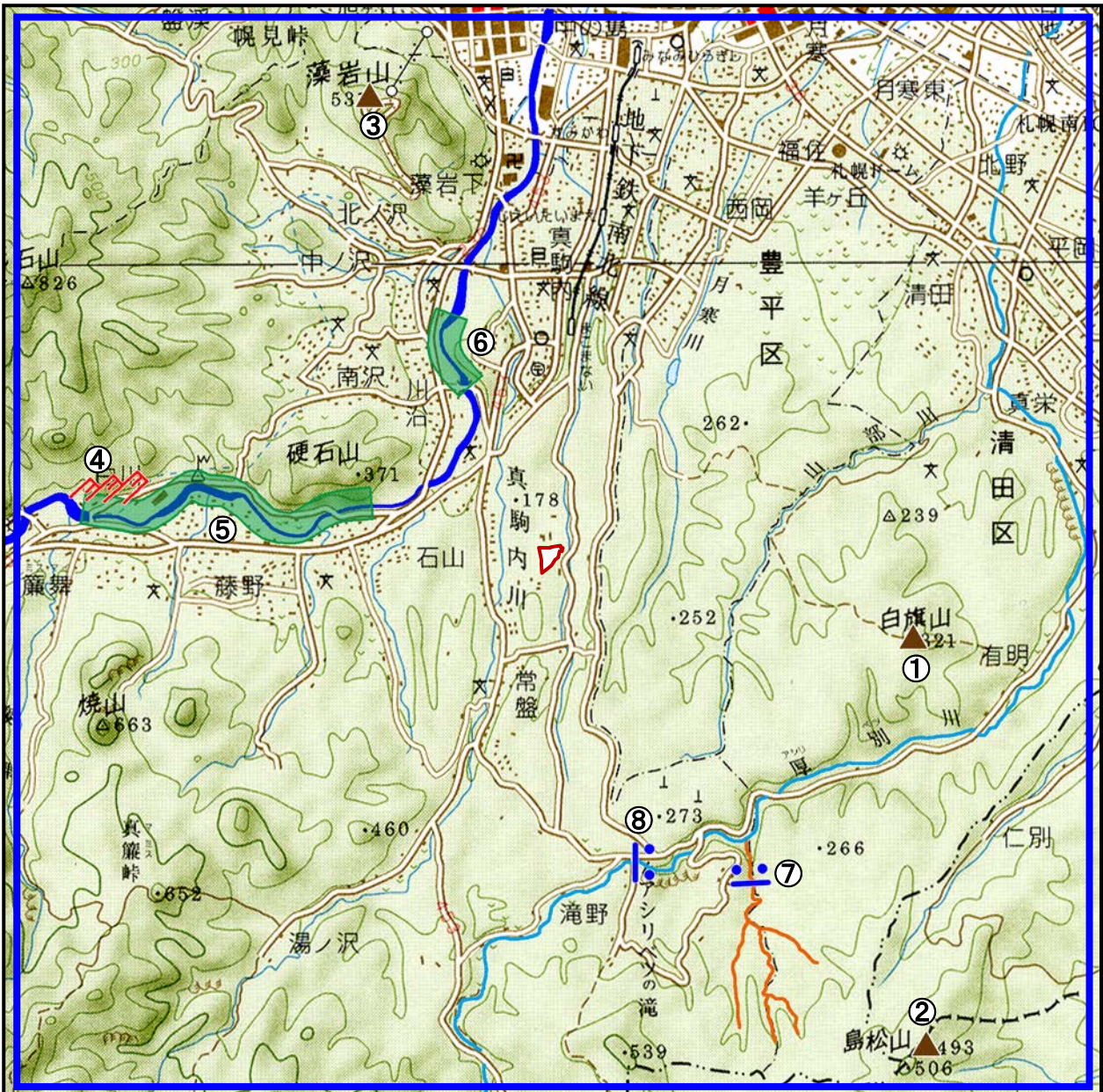
表 3-2-2-14 自然景観資源の概要⁶⁸⁾

類型	自然景観資源名	図中番号	名称	概要
山地景観	非火山性孤峰	①	白旗山	最高標高 321.5m の山
		②	島松山	最高標高 492.9m の山
		③	藻岩山	最高標高 530.9m の山
特殊地学景	節理	④	簾舞河岸の柱状節理	新第三紀中新世末に貫入した石英安山岩の柱状節理
河川景観	渓谷	⑤	豊平川・十五島公園付近	延長 4.7 km、幅 50~150m、深さ 5~10m の渓谷で、新第三紀硬質頁岩及び石英安山岩(貫入岩、柱状節理をともなう)が露出 また、周辺に河岸段丘が発達
		⑥	豊平川・藻南公園付近	延長 1.2 km、幅 50~150m、深さ 5~10m の渓谷で、新第三紀泥岩・集塊岩が露出。一部にV字状の淵が発達し、「おいらん淵」と呼ばれたこともある
	滝	⑦	鱒見の滝	落差 10m、滝口幅 5m の一文字状の滝
		⑧	アシリベツの滝	落差 25m、滝口幅 7~8m の一文字状の滝

注：図中番号は、図 3-2-2-8 に対応している。

67) 環境庁「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 北海道(胆振・石狩・空知)」(平成元年)

68) 環境庁「第3回自然環境保全基礎調査 日本の自然景観 北海道版」(平成元年)

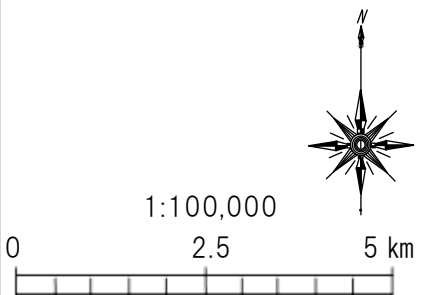


凡 例				
	事業実施想定区域			
	区 界			
	影響想定地域(景観)			
	豊平川			
	厚別川			
	鱒見の沢川			
	自然景観資源(非火山性弧峰)			
	自然景観資源(節理)			
	自然景観資源(溪谷)			
	自然景観資源(滝)			
①	非火山性弧峰	⑤	溪谷	豊平川・十五島公園付近
②	島松山	⑥	溪谷	豊平川・藻南公園付近
③	藻岩山	⑦	滝	鱒見の滝
④	節理	⑧	滝	アシリベツの滝

注：図中番号は本文中の表 3-2-2-14 に対応している。

図 3-2-2-8
自然景観資源の位置図

※この地図は国土地理院発行の20万分の1地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



(b) 札幌景観資産

札幌市では、都市景観条例に基づき札幌景観資産を指定している。

影響想定地域（景観）における札幌景観資産は、表 3-2-2-15 及び図 3-2-2-9 に示す「旧石山郵便局（ぼすとかん）」、「エドウィン・ダン記念館」及び「旧石切山駅（石山振興会館）」がある⁶⁹⁾。

表 3-2-2-15 影響想定地域（景観）における札幌景観資産⁶⁹⁾

図中 番号	名称	建設年	構造	所在地
①	旧石山郵便局 (ぼすとかん)	昭和15年	石造 (札幌軟石)	南区石山2条3丁目1-26
②	エドウィン・ダン記念館	明治20年	木造	南区真駒内泉町1丁目6-1
③	旧石切山駅 (石山振興会館)	大正7年	木造一部 石造り	南区石山1条3丁目1-30

注：図中番号は、図 3-2-2-9 に対応している。

(c) 市民主体の景観資源

札幌市では、市民ひとり一人の個人的に好きな場所、大切な風景を集めて共有することで、新たな景観（価値）を生み出し、まちづくりの中で生かしていく取り組み「好きです。さっぽろ(個人的に。)」^{*}事業を行っている。

事業の一環として、「第1回さっぽろ景観総選挙」を「好きです。さっぽろ(個人的に。)」運営委員会と共催し、平成26年1月26日に投票結果を発表した⁶⁹⁾。

事業実施想定区域の位置する南区においては、表 3-2-2-16 のとおり、石山緑地が1位に、東海大学のラベンダーフェスティバル会場が3位に、藻岩山が9位に選出された⁶⁹⁾。

表 3-2-2-16 南区における市民主体の景観資源⁶⁹⁾

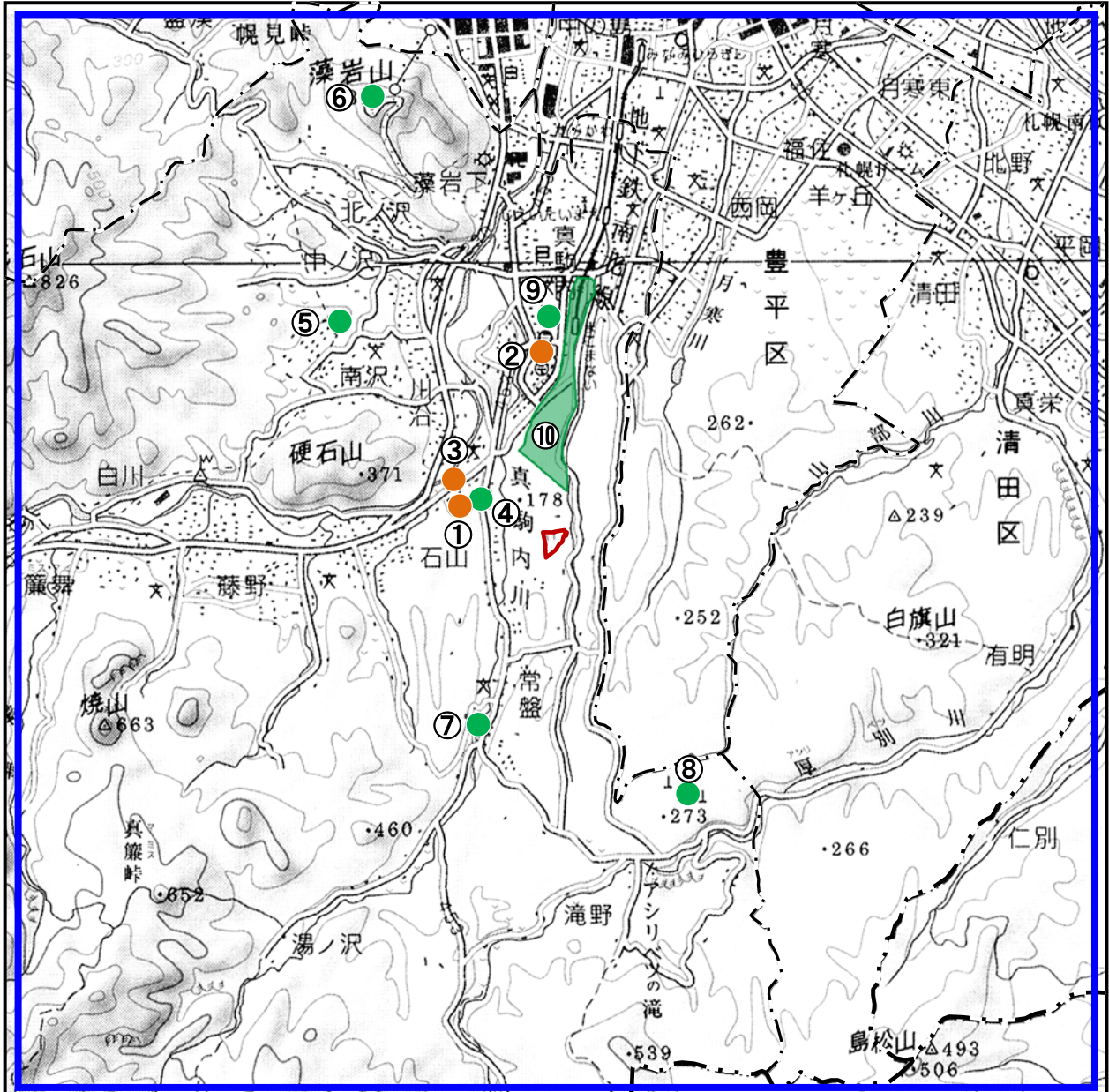
図中 番号	名称	順位	票数 (票)
④	石山緑地	1位	172
⑤	東海大学のラベンダーフェスティバル会場	3位	157
⑥	藻岩山	9位	124
—	南区各地の雪あかりの取り組み— 定山溪温泉雪灯路(ゆきとうろ)	25位	64
⑦	札幌芸術の森に架かるボザール橋	29位	55
⑧	真駒内滝野霊園	31位	52
⑨	真駒内五輪団地	38位	43
⑩	桜山(真駒内保健保安林)	42位	42

注：図中番号は、図 3-2-2-9 に対応している。

69) 札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課ホームページ「都市景観」

※ 好きです。さっぽろ(個人的に。)について

「好きです。さっぽろ(個人的に。)」は、市民ひとり一人の個人的に好きな場所、大切な風景を集めて共有することで、新たな景観（価値）を生み出し、まちづくりの中で活かしていく取り組みである。平成24年度から、市民主体の景観資源選出事業の取組を実施している。

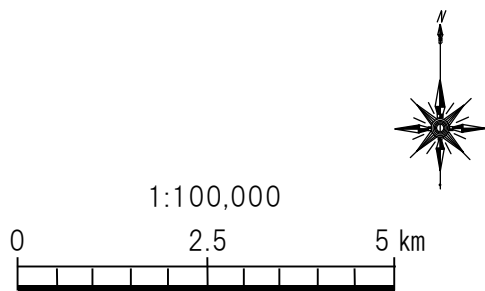


凡 例			
		事業実施想定区域	
		区 界	
		市 町 村 界	
		影響想定地域 (景 観)	
		札 幌 景 観 資 産	
		市 民 主 体 の 景 観 資 源	
①	旧石山郵便局 (ぼすとかん)	⑥	藻 岩 山
②	エドウィン・ダン 記 念 館	⑦	札幌芸術の森に架 かるボザール橋
③	旧石切山駅	⑧	真駒内滝野霊園
④	石山緑地	⑨	真駒内五輪団地
⑤	東海大学のラベンダ -フェスティバル会場	⑩	桜山(真駒内 保健保安林)

注：図中番号は、本文中の表3-2-2-15～16に対応している。

図 3-2-2-9 札幌景観資産及び
市民主体の景観資源

※この地図は、国土地理院発行の20万分の1
地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



出典：札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課ホームページ「都市景観」

c. 主要な眺望点等の分布状況

影響想定地域（景観）の主要な眺望点の分布状況を、表 3-2-2-17 及び図 3-2-2-10(1)～(3)に示す^{70) 71) 72) 73) 74) 75)}。

また、事業実施想定区域に隣接し、計画施設と同じ焼却能力の現駒岡清掃工場の視認の可否について、表中に併記した。

ここで、近景域は 500m 未満、中景域は 500m～3.0 km、遠景域は 3.0 km 以上とした⁷⁶⁾。また、眺望点における眺望可能な景観資源（事業実施想定区域方向）を望む現況写真を写真 3-2-2-1～3-2-2-4 に示すが、景観資源に対する眺望については、方法書段階で眺望点の追加検討なども含め再度検証する。

表 3-2-2-17 影響想定地域（景観）における主要な眺望点^{70) 73) 75)}

図中番号	主要な眺望点	景観の区分	眺望可能な景観資源（事業地方向）	現工場の視認可否	事業実施想定区域からの距離
①	札幌市保養センター駒岡	近景域	特になし	○	約 100m
②	札幌ガーデンヒルズしらかばゴルフ場	近景域	藤野豊栄山方向のスカイライン	○	約 400m
③	札幌市立駒岡小学校	近景域	学校林	○	約 200m
④	真駒内駒岡団地	近景域	ゴルフ場方向丘陵地	○	約 100m
⑤	西岡公園	中景域	空沼岳方向のスカイライン	×	約 3.0 km
⑥	常盤公園	中景域	特になし	×	約 1.7 km
⑦	札幌芸術の森	中景域	特になし	×	約 2.8 km
⑧	札幌市立石山東小学校	中景域	丘陵地	×	約 900m
⑨	石山緑地展望テラス	中景域	丘陵地	×	約 1.6 km
⑩	藻南公園	中景域	豊平川	×	約 2.8 km
⑪	札幌市営地下鉄南北線真駒内駅	遠景域	駅南の緑地	×	約 3.4 km
⑫	羊ヶ丘展望台	遠景域	空沼岳方向のスカイライン	×	約 5.3 km
⑬	札幌ドーム	遠景域		×	約 5.3 km
⑭	滝野すずらん丘陵公園	遠景域	藻岩山方向のスカイライン	×	約 5.0 km
⑮	藻岩山展望台、駐車場	遠景域	恵庭岳～白旗山等	○	約 7.0 km
⑯	真駒内公園	遠景域	桜山(真駒内保健保安林)	×	約 4.0 km

注 1：近景は 500 未満、中景は 500m～3.0 km、遠景は 3.0 km 以上とした。

2：現工場の視認可否における「○」は現駒岡清掃工場を視認でき、「×」はできないことを示す。

3：図中番号は、図 3-2-2-10(1)～(3)に対応している。

70) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市公園緑地図」（平成 23 年 4 月）

71) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市の公園・緑地 平成 25 年度」（平成 25 年 11 月）

72) 札幌市環境局みどりの推進部ホームページ「公園検索システム」

73) 札幌市南区「南区ガイド&MAP」（平成 26 年 4 月）

74) 札幌市南区「札幌シーニックハイウェイ※ 藻岩山麓・定山溪ルート スタンプラリーマップ」（平成 26 年 5 月）

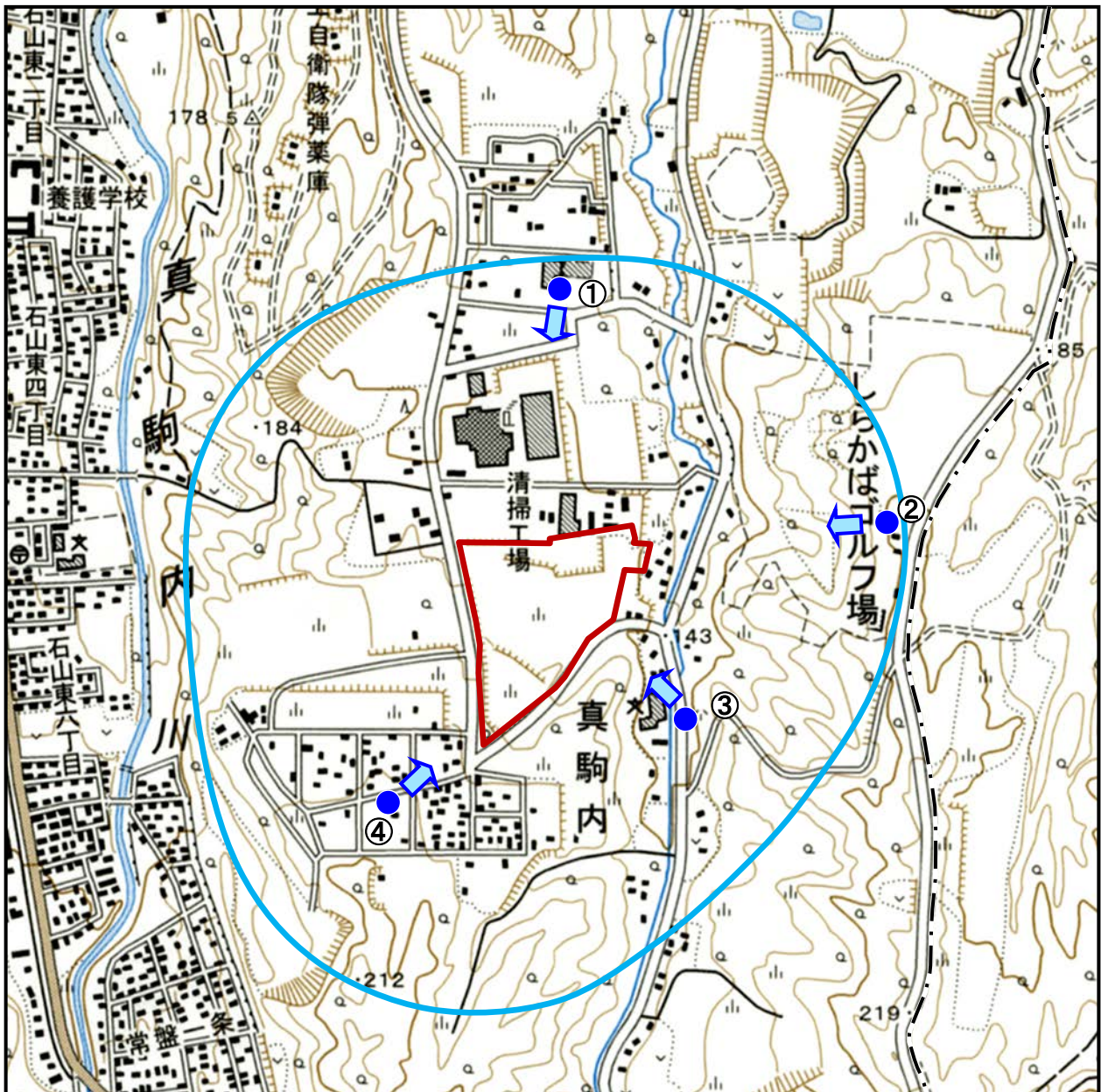
75) 昭文社「スーパーマップル北海道道路地図 2014 年版」（平成 26 年 3 月）






76) 環境庁「自然環境のアセスメント技術(Ⅱ)」（平成 12 年 9 月）

※ シーニックバイウェイについて

シーニックバイウェイ（Scenic Byway）とは、Scenic（景観の良い）と Byway（わき道・寄り道）を組み合わせた言葉であり、地域と行政が連携して景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を「みち」でつなぎながら個性豊かな地域、美しい環境づくりを目指す取り組みである。

北海道では、平成 17 年度より全国に先駆けて「シーニックバイウェイ北海道」として本格的にスタートし、現在 14 のルートが活動している。



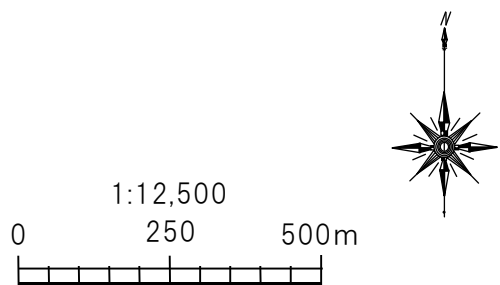
凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界
	近 景 域 (500m 以内)
	主要な眺望点 (近景域)
①	札幌市保養センター駒岡
②	札幌ガーデンヒルズしらかばゴルフ場
③	札幌市立駒岡小学校
④	真駒内駒岡団地
	写 真 撮 影 方 向

注：图中番号は、本文中の表 3-2-2-17 に対応している。
近景域の枠は敷地境界線から 500m の範囲を示す。

図 3-2-2-10(1)

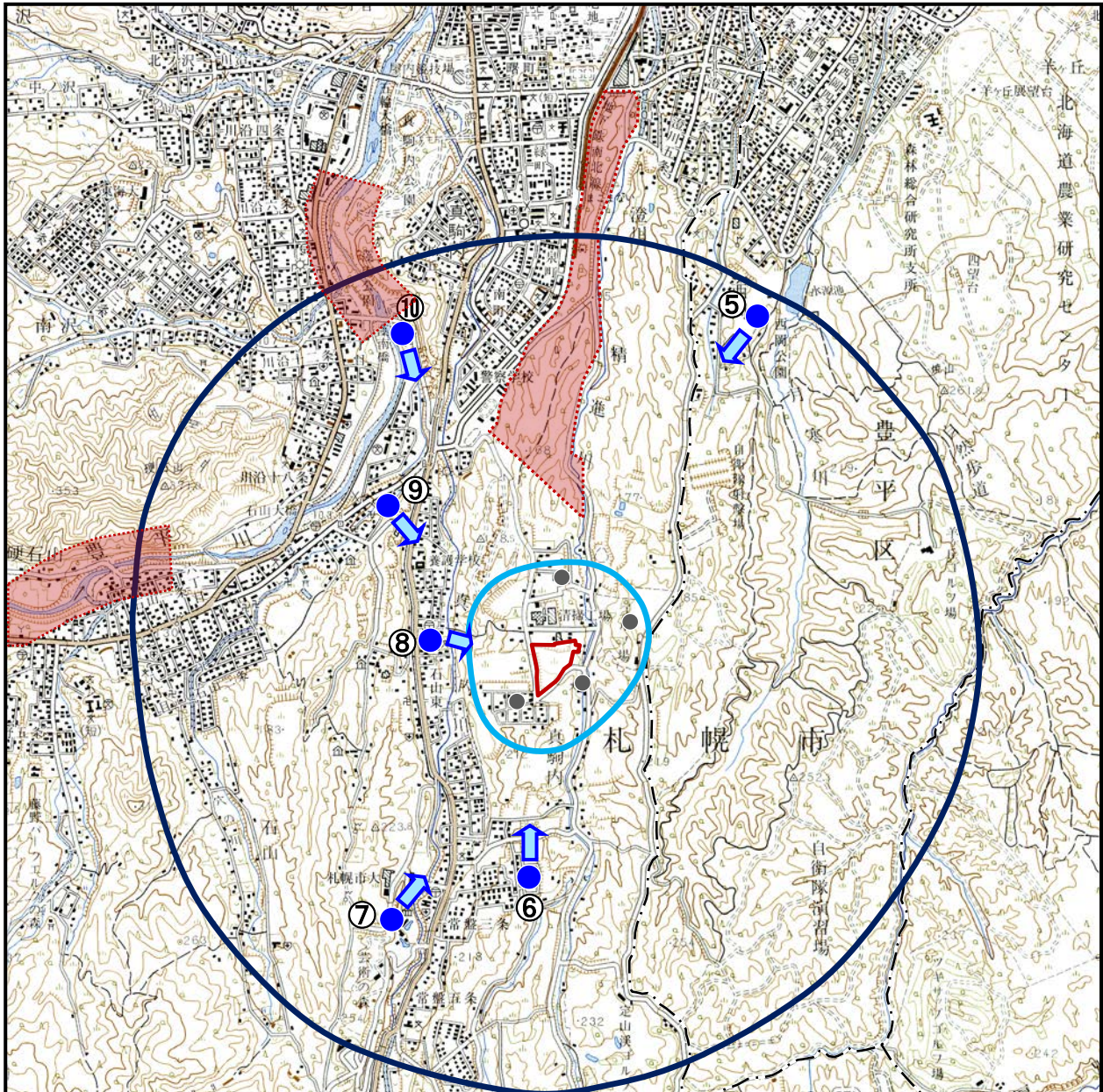
主要な眺望点の位置図(近景域)

※この地図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図(石山)を拡大して使用したものである



出典：札幌市南区役所「南区ガイド&MAP」(平成 26 年 4 月)

昭文社「スーパーマッフル北海道道路地図 2014 年版」(平成 26 年 3 月)

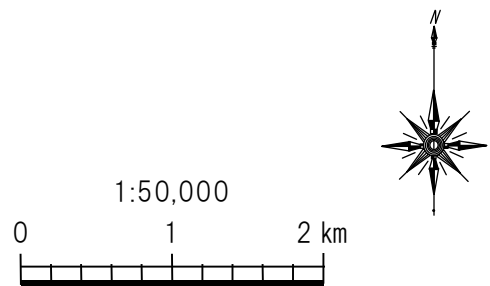


凡 例	
	事業実施想定区域
	区 界
	近 景 域 (500m 以内)
	中 景 域 (3km 以内)
	主要な眺望点 (中景域)
	主要な眺望点 (近景域)
	自然景観資源
⑤	西岡公園
⑥	常盤公園
⑦	札幌芸術の森
⑧	札幌市立石山東小学校
⑨	石山緑地展望テラス
⑩	藻南公園
	写真撮影方向

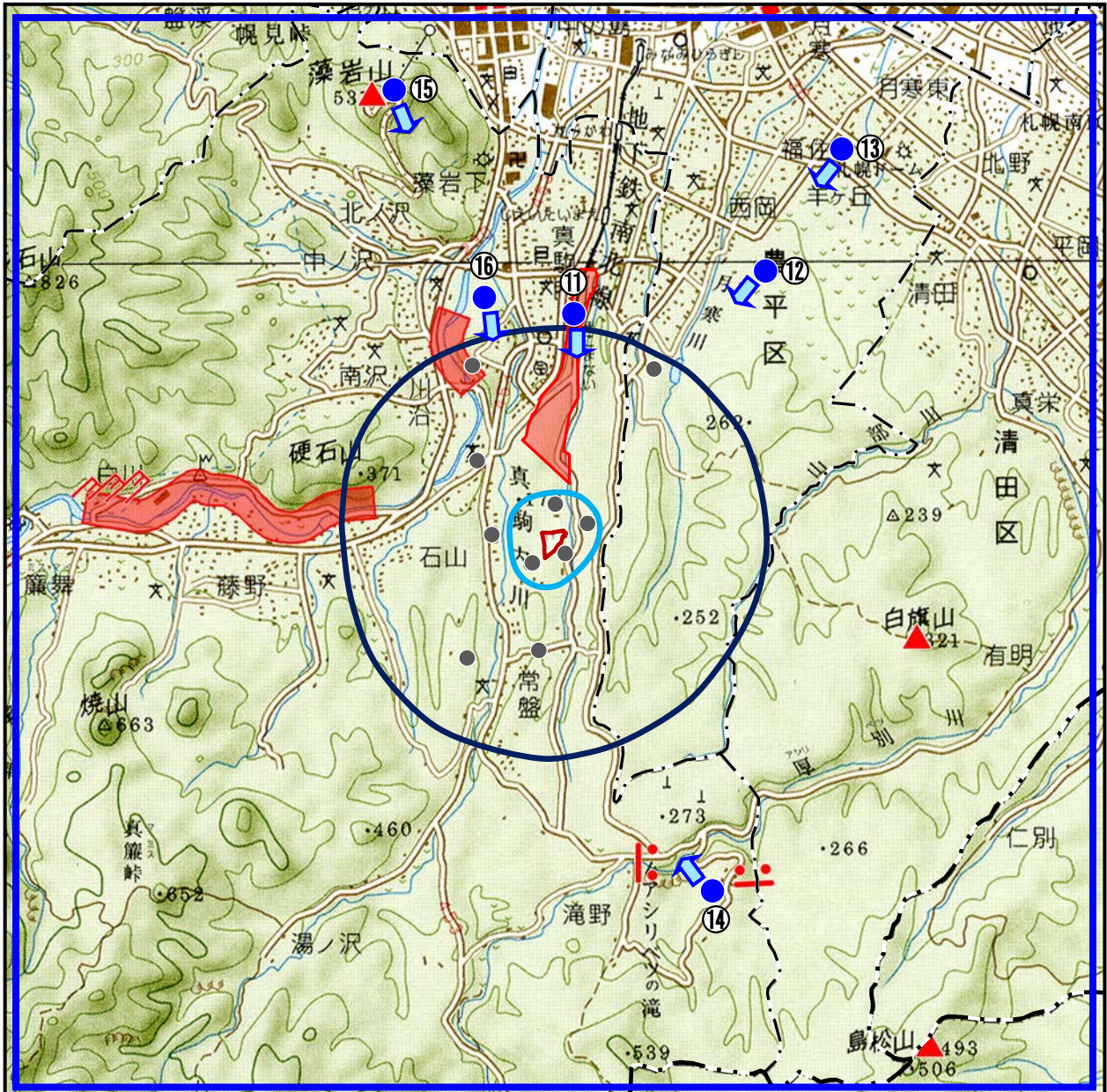
注：番号は、本文中の表 3-2-2-17 に対応している。
中景域の枠は敷地境界線から 3km の範囲を示す。

図 3-2-2-10(2)
主要な眺望点の位置図(中景域)

※この地図は、国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図(札幌、石山)を使用したものである



出典：札幌市南区役所「南区ガイド&MAP」(平成 26 年 4 月)
昭文社「スーパーマップル北海道道路地図 2014 年版」(平成 26 年 3 月)

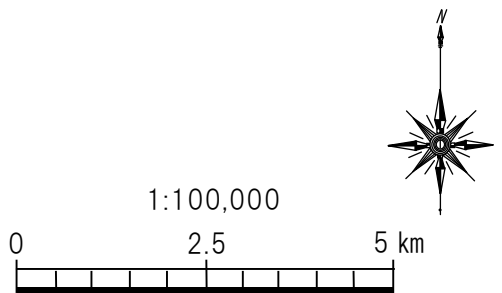


凡 例			
	事業実施想定区域		
	区 界		
	市 町 村 界		
	影響想定地域 (景観)		
	近景域 (500m 以内)		
	中景域 (3km 以内)		
	自然景観資源		
	主要な眺望点 (遠景域)		
	写 真 撮 影 方 向		
	主要な眺望点 (近景域・中景域)		
⑪	地下鉄南北線 真駒内駅	⑭	滝野すずらん 丘陵公園
⑫	羊ヶ丘展望台	⑮	藻岩山展望台
⑬	札幌ドーム	⑯	真駒内公園

注：图中番号は、本文中の表 3-2-2-17 に対応している。

図 3-2-2-10(3)
主要な眺望点の位置図
(3km 以遠の遠景域)

※この地図は、国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



出典：札幌市南区役所「南区ガイド&MAP」(平成 26 年 4 月)

昭文社「スーパーマップル北海道道路地図 2014 年版」(平成 26 年 3 月)

<p>①札幌市 保養センター 駒岡</p>	<p style="text-align: right;">(景観資源はない)</p> <p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> 
<p>②札幌 ガーデンヒルズ しらかば ゴルフ場</p>	<p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> <p style="text-align: center;">(藤野豊栄山) (豊平川) (硬石山) (砥石山)</p> 
<p>③札幌市立 駒岡小学校</p>	<p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> <p style="text-align: center;">(学校林)</p> 
<p>④真駒内 駒岡団地</p>	<p style="text-align: center;">← 事業実施想定区域 →</p> <p style="text-align: right;">(ゴルフ場のある丘陵地)</p> 

写真 3-2-2-1 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望(近景域)




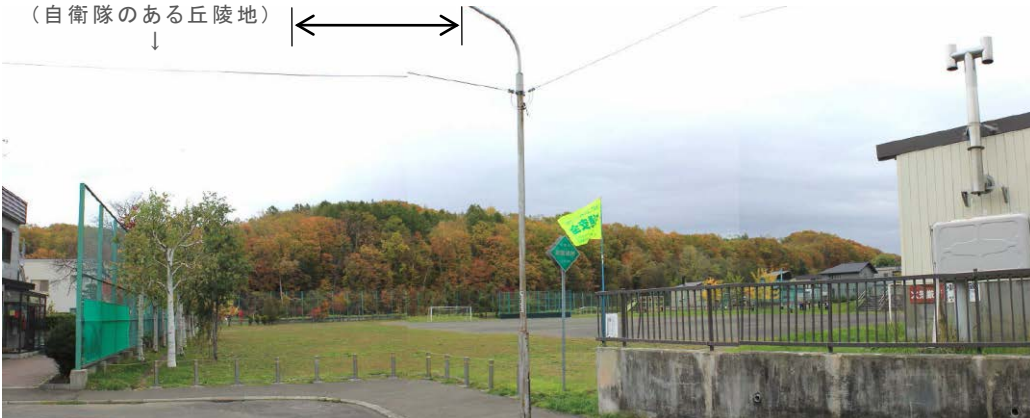
<p>⑤西岡公園 (展望台)</p>	<p>事業実施想定区域 </p>
<p>⑥常盤公園</p>	<p>事業実施想定区域 </p>
<p>⑦札幌 芸術の森</p>	<p>事業実施想定区域 </p>
<p>⑧札幌市立 石山東 小学校</p>	<p>事業実施想定区域 </p>

写真 3-2-2-2 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望(中景域)

<p>⑨石山緑地</p>	
<p>⑩藻南公園</p>	
<p>⑪地下鉄 南北線 真駒内駅</p>	
<p>⑫羊ヶ丘 展望台 (チャペル) 屋上テラス</p>	

写真 3-2-2-3 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望(遠景域 1)



写真 3-2-2-4 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望(遠景域 3)

(イ) 人と自然との触れ合いの活動の場

a 野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

影響想定地域(触れ合いの活動の場)における野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況を、表 3-2-2-18 及び図 3-2-2-11 に示す 20) 70) 71) 72) 73) 74) 77) 78) 79) 80)。

南東部の丘陵地にはゴルフ場やパークゴルフ場が多く、石山東地区や真駒内川の周辺には散策路や都市公園等が多く分布している。

また、ウォーキングルート芸術の森コースは、石山陸橋から札幌市立大学まで真駒内川に沿って歩くコースである。この他、駒岡小学校では、自然に親しむ教育を進めており、学校林や精進川における野外活動を実施している。

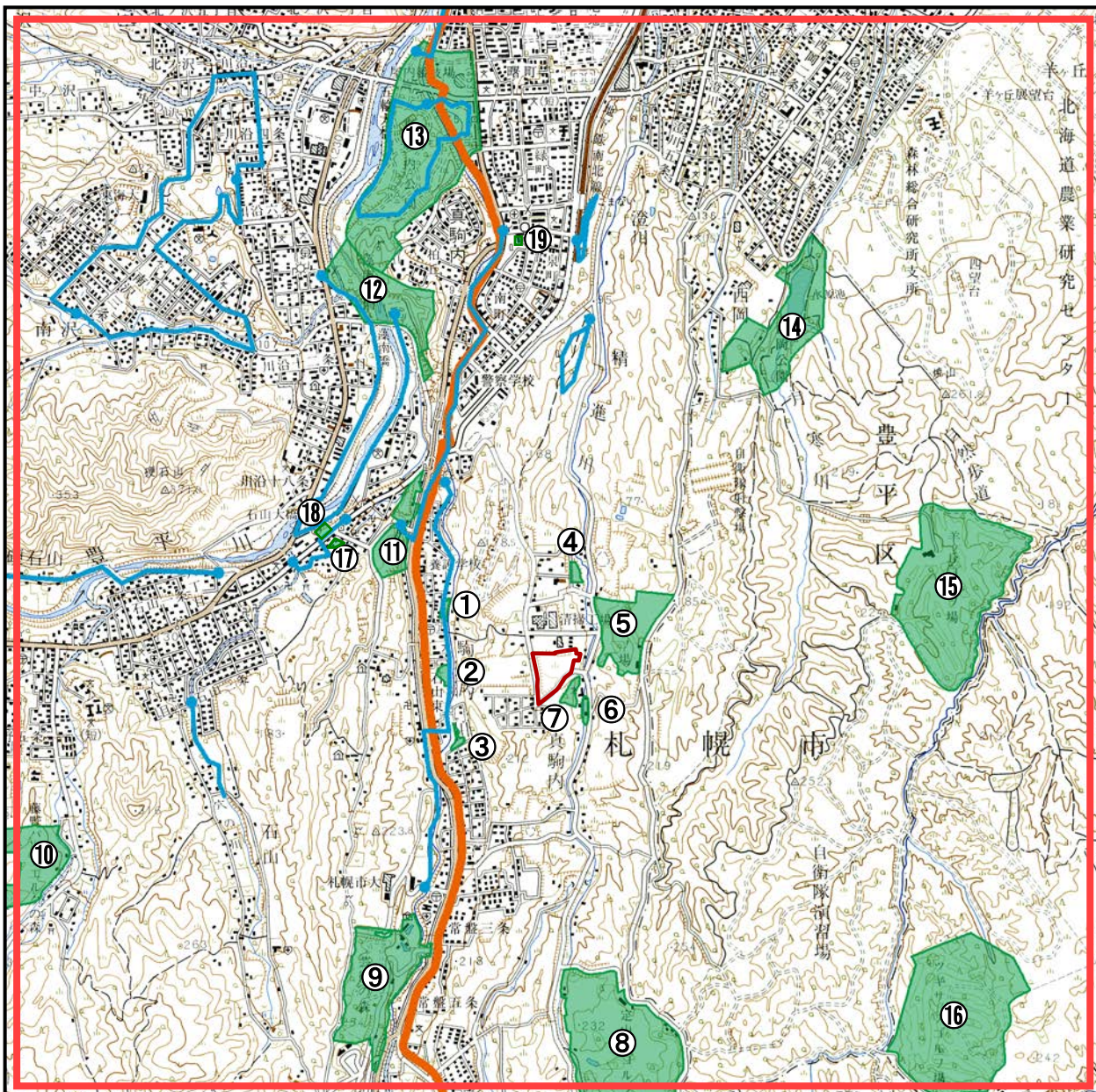
表 3-2-2-18 に示す地点のうち、現駒岡清掃工場が眺望できる箇所は、④保養センター駒岡パークゴルフ場及び⑤しらかばゴルフ場である。この他、精進川については、図 3-2-2-11 の影響想定地域外ではあるが、下流域で川の再生事業や清掃活動などが行われている。

- 20) 札幌市環境局環境都市推進部「平成 26 年度 札幌市環境白書」(平成 27 年 1 月)
- 70) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市公園緑地図」(平成 23 年 4 月)
- 71) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市の公園・緑地 平成 25 年度」(平成 25 年 11 月)
- 72) 札幌市環境局みどりの推進部ホームページ「公園検索システム」
- 73) 札幌市南区「南区ガイド&MAP」(平成 26 年 4 月)
- 74) 札幌市南区「札幌シニックハイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート スタンプラリーマップ」(平成 26 年 5 月)
- 77) 札幌市南区「南区ウォーキング MAP」(平成 23 年 6 月)
- 78) 札幌市建設局総務部「さっぽろサイクリングマップ」(平成 19 年 3 月)
- 79) (社福)札幌市福祉事業団ホームページ「くつろぎの宿 札幌市駒岡保養センター」
- 80) 札幌市立駒岡小学校ホームページ「札幌市立駒岡小学校ー自然は友だちー」

表 3-2-2-18 野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場

図中 番号	施設名	活動内容 (利用者数)	利用 時期	備考	アクセス経路	現工場 の視認 可否
①	石山こだま公園	遊び スキー ミニサッカー	通年	街区 公園	地下鉄南北線真駒内駅から中央バス「石山東4丁目」下車	×
②	石山東公園	遊び 野球 テニス ゲートボール	通年	近隣 公園	真駒内駅から中央バス「石山東5丁目」下車	×
③	真駒内川緑地（常盤）	散策	通年	都市 緑地	真駒内駅から約750m	×
④	保養センター駒岡 パークゴルフ場	パークゴルフ (26,000人/H24)	春～秋	冬季 休業	真駒内駅から中央バス「保養センター駒岡」下車	○
⑤	札幌ガーデンヒルズ しらかばゴルフ場	ゴルフ	春～秋	冬季 休業	真駒内駅から車で約5分	○
⑥	精進川 親水護岸 「駒岡の水辺」	水遊び	夏	冬季 閉鎖	真駒内駅から中央バス「駒岡小学校前」下車	×
⑦	駒岡小学校 学校林 「こまおかの森」	森の学習 体育	通年	—	真駒内駅から中央バス「駒岡小学校前」下車	×
⑧	札幌南ゴルフ 駒丘コース	ゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から約8km、車で約10分	×
⑨	札幌芸術の森	美術品鑑賞 工房利用等 (約35万人/H24)	通年	—	真駒内駅から中央バス「芸術の森入口」または「芸術の森センター」下車	×
⑩	藤野パークエルクの森	パークゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅からじょうてつバス「藤野4条2丁目」徒歩7分	×
⑪	石山緑地	展望台 テニス 水遊び	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から中央バス「石山東3丁目」下車徒歩4分	×
⑫	藻南公園	ハイキング テニス、野球	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅からじょうてつバス「藻南公園前」下車	×
⑬	道立真駒内公園	テニス ジョギング スケート 歩くスキー	通年	—	真駒内駅からじょうてつバス「上町1丁目」または「真駒内競技場前」下車	×
⑭	西岡公園 キャンプ場、水源地	自然観察 キャンプ	通年	—	澄川駅から中央バス「西岡水源地」下車徒歩1分	×
⑮	羊ヶ丘ゴルフクラブ	ゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から約8km車で約12分	×
⑯	ツキサップ ゴルフクラブ	ゴルフ	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅から約15km車で約20分	×
⑰	旧石切山郵便局 (ぼすとかん)	建造物	通年	電話 連絡	真駒内駅から、じょうてつバス「石山中央」徒歩2分	×
⑱	旧石切山駅	木造建築物	通年	—	真駒内駅から、じょうてつバス「石山中央」徒歩2分	×
⑲	エドウィン・タン記念館	有形文化財 (5,900人/H22)	通年	—	真駒内駅から、徒歩9分	×
—	南区ウォーキングコース	散策	春～秋	冬季 閉鎖	真駒内駅等から徒歩	×
—	滝野上野幌自転車道路	サイクリング	春～秋	冬季 閉鎖	滝野から上野幌までの全長40km	×

- 注1：芸術の森の野外美術館は、冬季休館する。
 2：図中番号は、図 3-2-2-11 に対応している。
 3：年間利用者数（年度）は統計をとっている施設のみ掲載した。
 4：現工場の視認可否における「○」は現駒岡清掃工場を視認でき、「×」はできないことを示す。



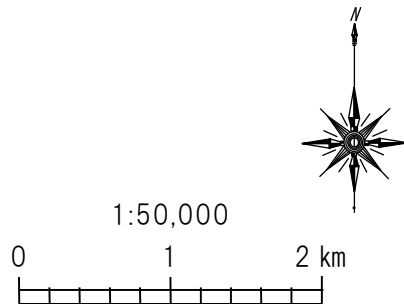
凡 例	
	事業実施想定区域
	区界
	影響想定地域（触れ合いの活動の場）
	野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場
	南区ウォーキングコース
	滝野上野幌自転車道路
① 石山こだま公園	⑨ 札幌芸術の森
② 石山東公園	⑩ 藤野パークエルクの森
③ 真駒内川緑地（常盤）	⑪ 石山緑地
④ 保養センター駒岡パークゴルフ場	⑫ 藻南公園
⑤ 札幌ガーデンヒルズしらかばゴルフ場	⑬ 道立真駒内公園
⑥ 精進川親水護岸「駒岡の水辺」	⑭ 西岡公園、キャンプ場、水源地
⑦ 駒岡小学校 学校林「こまおかの森」	⑮ 羊ヶ丘ゴルフクラブ
⑧ 札幌南ゴルフ駒丘コース	⑯ ツキサップゴルフクラブ
	⑰ 旧石山郵便局（ぼすとかん）
	⑱ 旧石切山駅
	⑲ エドウィン・ダン記念館

注：図中番号は、本文中の表 3-2-2-18 に対応している。

図 3-2-2-11

野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

※この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図(札幌、石山)を使用したものである



出典：札幌市南区役所「南区ガイド&MAP,南区ウォーキングマップ」(平成6年4月,平成23年6月)
 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市の公園・緑地 平成25年度」(平成25年11月)